笛吹市花鳥の里スポーツ広場

トイレ改修工事

統番	図面番号	図面名称	縮尺
1	A－00	表紙・図面リスト	No Scale
2	A－01	特記仕様書－１	No Scale
3	A－02	特記仕様書－２	No Scale
4	A－03	特記仕様書－３	No Scale
5	A－04	特記仕様書－４	No Scale
6	A－05	特記仕様書－５	No Scale
7	A－06	特記仕様書－６	No Scale
8	A－07	特記仕様書－７	No Scale
9	A－08	仕上げ表	No Scale
10	A－09	案内図・配置図	1:4
11	A－10	仮設計画図	1:250
12	A－11	既存平面詳細図・改修平面詳細図	1:50
13	A－12	既存 立面図	1:50
14	A－13	改修 立面図	1:50
15	A－14	既存 矩計図	1:30
16	A－15	改修 矩計図	1:30
17	A－16	既存　展開図-1	1:50
18	A－17	既存　展開図-2	1:50
19	A－18	既存　展開図-3	1:50
20	A－19	改修　展開図-1	1:50
21	A－20	改修　展開図-2	1:50
22	A－21	改修　展開図-3	1:50
23	A－22	木構造図	1:50

笛吹市

統番	図面番号	図面名称	縮尺
24	A－23	改修小屋平面図　改修天井伏図	1:50
25	A－24	改修建具キープラン	1:50
26	A－25	改修建具表－１	1:50
27	A－26	改修建具表－２	1:50
28	A－27	部分詳細図	1:50
29	A－28		
30	E－01	電気設備特記仕様書	No Scale
31	E－02	分電盤結線図・照明器具参考姿図	1:50
32	E－03	電気設備平面図（既設撤去・新設）	1:50
33	M－01	機械設備特記仕様書	No Scale
34	M－02	器具表　機器表	No Scale
35	M－03	設備配置図	1:1000
36	M－04	既存平面図	1:50
37	M－05	改修平面図　衛生設備	1:50
38	M－06	改修平面図　暖房・換気設備	1:50
39	M－07	浄化槽　構造参考図	1:50
40	M－08	浄化槽　施工参考図	1:50
41	M－09	浄化槽　制御盤参考図	No Scale
42	M－10	浄化槽　配線・配管参考図	No Scale

花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事設計図

平成　　年　　月（全　　枚）

仕 様 書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　山梨県笛吹市御坂町大野寺250

2．敷地面積

3．工事種目　図示の内容すべて

4．工事内容　図示

5．工事範囲

※「3．工事種目」すべてを工事範囲とする。

・「3．工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

工事種目／工事項目				
2　仮設工事				
3　防水改修工事				
4　外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁				
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁				
外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁				
外壁改修工事 塗り仕上げ外壁				
5　建具改修工事				
6　内装改修工事				
7　塗装改修工事				
8　耐震改修範囲以外の躯体改修工事				
耐震改修工事				
9　環境配慮改修工事				

Ⅱ　建築改修工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）」（以下「改修標仕」という。）により、また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）」（以下「標仕」という。）による。

2．特記仕様

（1）項目は、番号に◯印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、・印の付いたものを適用する。

・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

・印と※印の付いた場合は、ともに適用する。

（3）特記事項に記載の［　．　．］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（　．　．）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の（別2-　．）は、標仕の「別図2　ボルト間隔等及び溶接継手の開先形状」の該当項目を示す。

（6）G印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①適用基準等	・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成22年版） ・工事写真の撮り方（改訂第2版）建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修） ・建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成24年版） ・
	②工事実績情報の登録	※工事実績情報（CORINS）の登録を行うこと。（請負工事費が500万円以上）　[1.1.4]
	③品質計画等	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　[1.2.2] ※風速　V_0=（　　）m/s（平12建告第1454号第2） ※地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ ・積雪区分　平12建告第1455号　別表（　　） ・
	4 電気保安技術者	[1.3.3] 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ・要　　・不要
	⑤施工条件	下記以外は現場説明書による。　[1.3.5] ・工事用車両の駐車場所　※図示 ・資機材置場　※図示 ・建設発生土仮置場　※図示 ・　※図示
	⑥発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの　（・金属類　・　　）　[1.3.8] ・特別管理産業廃棄物　（・廃石綿　・PCB含有物　・　　）　[1.3.8] ・現場において再利用を図るもの　（　　）　[1.3.8] ・再資源化を図るもの　（　　）　[1.3.8] ・PCB含有シーリング材の処理 ・第一次判定：現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数　計（　　）箇所 採取箇所　※図示 ・第二次判定：専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 分析個数　計（　　）箇所 ・除去処理工事 除去範囲　※図示
	⑦環境への配慮	化学物質を放散させる建築材料等　[1.4.1] 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。 （1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （3）接着剤はフタル酸ジ−n−ブチル及びフタル酸ジ−2−エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 （5）（1）、（3）及び（4）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。

ホルムアルデヒド放散量	該当する材料
規制対象外	① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a．接着剤等不使用 b．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

⑧材料の品質等		[1.4.2] 本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。
⑨特別な材料の工法		改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
⑩施工数量調査		調査範囲及び調査方法　※図示　[1.5.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　[1.5.3]
⑪技能士		[1.6.2]

適用工事種別	技能検定作業
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業　・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業　・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業　・タイル張り作業　・建築塗装作業
建具改修工事	・ビル用サッシ工事作業　・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業　・大工工事作業 ・鋼製下地工事作業　・左官作業　・タイル張り作業
塗装改修工事	・建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄筋組立作業　・型枠工事作業　・コンクリート圧送工事作業 ・構造物鉄工作業　・とび作業
コンクリートブロック・ALCパネル工事	・コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

誤

⑫高度技術・創意工夫社会性等実施状況		このことについて、請負者は工事施工について、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。（請負金額が500万円以上）
⑬完成時の提出図書		・完成図　[1.8.1～3]　[表1.8.1] ・既存図面修正 ※作成する 提出部数　※各2部　・　部（A3版第二原図及び電子媒体（CD-R）） 種類　※改修標仕表1.8.1による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。 ※施工計画書　提出部数　※1部　・　部 ※施工図　提出部数　※1部　・　部 ・保全に関する資料　提出部数　※2部　・　部
⑭設備工事との取合い		設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
⑮下請け施工体系図の作成及び提出		「山梨県暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、金額工種の如何にかかわらず、末端の下請負業者まで反映させた「下請け施工体系図」を作成し、遺憾誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。 また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員に提出するものとする。 なお、提出は打ち合わせ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。
⑯設計GL		※現地にて指示

縮　尺　－

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事

図面名称　改修工事特記仕様書－1

No. A-01

2 仮設工事

① 足場その他

内部足場　種別　※きゃたつ、足場板等　[2.2.1]
外部足場　種別　※A種　・B種　・C種　・D種　[2.2.1]　[表2.2.1]
　防護シート　※設置する　・設置しない
材料、撤去材等の運搬方法　・A種　※B種　・C種　・D種　・E種　[2.2.1]　[表2.2.2]

② 既存部分の養生

既存部分の養生　※ビニルシート等　[2.3.1]
既存家具等の養生　※ビニルシート等
固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）

3 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種別　[2.3.2]　[表2.3.1]

種　別	下　地	仕上材（厚さ　mm）	充填材	塗　装
・A種	※軽量鉄骨	・合板（※9.0　・　）	厚さ　mm	※なし
・B種	・木下地	※せっこうボード（※9.5　・　）		・片面
※C種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※なし
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・あり

④ 監督職員事務所

※設ける　[2.4.1]
・構内に新設する（規模及び仕上げの程度は現場説明書による）
・既存建物内の一部を使用する
・設けない

⑤ 工事用水
⑥ 工事用電力

構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

3 防水改修工事

1 既存防水層の処理

既存保護層（平場）の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）　[3.2.3]
既存防水層（平場）の撤去　・行う（範囲　・図示　・　）　[3.2.4]
立上り部の防水層撤去　[表3.1.1]
・行う（・POS(機械)　・POSⅠ(機械)　・M4S　・M4SⅠ
・S4S(機械)　・S4SⅠ(機械)）
露出防水層表面の仕上げ塗装除去　[3.2.6]
・行う（・M4AS　・M4ASⅠ　・M4C　・M4DⅠ　・L4X）
改修用ドレン
・設ける（・POAS　・POASⅠ　・POD　・PODⅠ　・POS　・POSⅠ　・POX）

2 既存下地の補修

アスファルト補修の材料　※JIS K 2207による3種　[3.2.2]
既存下地の補修箇所、範囲、数量等　※図示　[3.2.6]

3 アスファルト防水

[3.3.2,3]　[表3.1.1]　[表3.3.3～10]

防水改修工法の種類		新規防水層の種別	施工箇所
保護防水	・P1B工法	・B－1　※B－2	
	・P1BⅠ工法　・T1BⅠ工法	・BⅠ－1　※BⅠ－2	
	・P2AⅠ工法	・AⅠ－1　※AⅠ－2	
	・P2A工法	・A－1　※A－2	
露出防水	・M4C工法	・C－1　※C－2	
	・M3D工法　・POD工法	・D－1　※D－2	
	・PODⅠ工法　・M3DⅠ工法 ・M4DⅠ工法	・DⅠ－1　※DⅠ－2	
屋内防水	・P1E工法　・P2E工法	・E－1　※E－2 （保護層は図示による）	

アスファルトの種類　※3種　・4種　[3.2.2]　[3.3.2]
M3D、POD、PODⅠ、M3DⅠ及びM4DⅠ工法の脱気装置　※設ける　・設けない　[3.3.3]
断熱工法の断熱材　[3.3.2]
※押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付き G　厚さ（mm）　※25
・　厚さ（mm）

立上り部の保護材　[3.3.2]
・乾式保護材　※押出成形セメント板（厚さ15mm）
・れんが　※JIS R 1250によるもの
・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック
（見え隠れ部分）
・コンクリート

4 改質アスファルトシート防水

[3.4.2,3]　[表3.1.1]　[表3.4.1～3]

防水改修工法の種類	新規防水層の種別	厚さ（mm）	施工箇所
・M4AS工法	・AS－1　・AS－2　・AS－3		
・M3AS工法 ・POAS工法	・AS－4　・AS－5　・AS－6		
・M3ASⅠ工法 ・M4ASⅠ工法 ・POASⅠ工法	・ASⅠ－1　・ASⅠ－2		

M3ASⅠ、M4ASⅠ及びPOASⅠ工法の防湿層　・設ける　・設けない　[表3.4.3]
M3AS、POAS、M3ASⅠ、M4ASⅠ及びPOASⅠの脱気装置　[3.4.3]
※設けない　・設ける

5 合成高分子系ルーフィングシート防水

[3.5.2,3]　[表3.1.1]　[表3.5.1]

防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
・POS工法 ・S4S工法	・S－F1　・S－F2 ・S－M1　・S－M2 ・S－M3		・シルバー ・カラー	※非歩行
・POSⅠ工法 ・S4SⅠ工法	・SⅠ－F1　・SⅠ－F2 ・SⅠ－M1　・SⅠ－M2 ・SⅠ－M3			
・S3S工法	・S－F1　・S－F2			
・S3SⅠ工法	・SⅠ－F1　・SⅠ－F2			
・M4S工法	・S－M1　・S－M2 ・S－M3			
・M4SⅠ工法	・SⅠ－M1　・SⅠ－M2 ・SⅠ－M3			

脱気装置　・設ける　・設けない　[3.5.3]
目地処理　PCコンクリートの場合（　）　[3.5.4]

6 塗膜防水

[3.6.2,3]　[表3.1.1]　[表3.6.1]

防水改修工法の種類	新規防水層の種別	施工箇所	仕上げ塗料塗り
・POX工法	※X－1　・X－2		・シルバー
・L4X工法	・X－1　※X－2		・カラー

脱気装置　※設けない　・設ける　[3.6.3]

7 脱気装置

[3.3.3]　[3.4.3]　[3.5.3]　[3.6.3]

種　類	材　質	設置数量
・平場部脱気型	・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ・ステンレス鋼　・鋳鉄	（　）m²当たり1箇所
・立上り部脱気型	・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス鋼　・銅	（　）m²当たり1箇所

8 シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4]　[表3.1.2]
・シーリング充填工法　・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類　※下表以外は、改修標仕表3.7.1による　[3.7.2]　[表3.7.1]

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

ブリッジ工法　ボンドブレーカー張り　・適用する　[3.7.7]
エッジング材張り　・適用する
接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験（部位：　）　[3.7.8]

⑨ とい

といの材種　[3.8.2]　[表3.8.1]
※配管用鋼管
・硬質塩化ビニル管（・VP　・RF-VP G）
・図示
鋼管製といの防露巻き　[3.8.2,3]　[表3.8.4,5]
※行う（施工箇所　※改修標仕表3.8.5による　・　）
防露材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種
といの掃除口　※あり（図示）　・なし
たてどい受金物の取付け　[3.8.3]
※図示　・標仕13.5.3（d）（2）による

ルーフドレン　[3.8.3]　[表3.8.1]

種　別	施工箇所
・ろく屋根用（・たて形　・横形）	
・バルコニー中継用	
・バルコニー用	

10 アルミニウム製笠木

[3.9.2]　[表3.9.1]

種　類	最小呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備　考
・250形	1.6	※A－1又は	※固定方法及び間隔は図示による。	コーナー部、突当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8	B－1種		
・350形	2.0	・B－2種		
・100形		（　）		
・				

板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　[3.9.3]

11 折板葺

(13.3.2,3)　(表13.2.1)

形　式	形状（mm）	材料（規格等）	軒先面戸板	断熱材	耐火性能
※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形	山高（　） 山ピッチ （　） 板厚 ※0.6　・0.8	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR－20－AZ150）	※あり ・なし	※あり 種別 （　） 厚さ （　）mm 防火性能 （　）時間 ・なし	※30分 ・なし

4 外壁改修工事　共通事項

① 施工数量調査

調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2]
調査内容
（1）ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
（2）モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。
（3）コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
（4）塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示し、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　※2部

② 改修材料

・既製調合モルタル

保水率	単位容積質量	接着強さ（N/mm²）		長さ変化率	曲げ強さ
		標準時	温冷繰返し後		
（%）	（kg/ℓ）			（%）	（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60程度	0.40以上	0.20以下	4.0以上

・パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性	接着強さ（標準）	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
（N/mm²）	（N/mm²）	（N/mm²）	（N/mm²）	（%）
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下

（1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（2）対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
（3）常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。
（4）試験方法は、JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）に準ずる。

・可とう性エポキシ樹脂

比重	押出し性（秒）	スランプ（mm）	加熱減量（%）	引張強さ（N/mm²）	伸び（%）	引張接着性
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	常温物性1.0以上 低温性　1.0以上 加熱劣化1.0以上	常温物性30.0以上 低温性　30.0以上 加熱劣化30.0以上	最大引張応力 1.0N/mm²以上 破断時の伸び 10.0%以上

（1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（2）対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
（3）常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのちであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。

・タイル部分張替え工法用接着剤
適用範囲　張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。
樹脂の種類　変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	凍結融解	熱劣化
強度（N/mm²）	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率（%）	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ（N/mm²）	0.60以上	0.60以上	0.60以上	0.40以上	0.40以上
伸び（%）	35以上	35以上	35以上	25以上	25以上
貯蔵安定性（一液形のみ）	質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。				
混練終結確認容易性（二液形のみ）	混練終結時の色が明瞭であること。				
耐熱性	JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定していること。				
ずれ抵抗性	ずれが生じないこと。				

（1）外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
（2）タイル、下地材等を侵すものでないこと。
（3）「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
（4）常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

		縮　尺	

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事
図面名称　改修工事特記仕様書－2

No. A-02

4 外壁改修工事 共通事項

・エポキシ樹脂モルタル

接着強さ（N/mm²）	圧縮強さ（N/mm²）	曲げ強さ（N/mm²）
1.0以上	20.0以上	10.0以上

（1）こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上りが良好であること。
（2）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（3）「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
（4）形状に異常がなく、だれが生じないこと。
（5）常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル

種類　合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ（N/mm²）	圧縮強さ（N/mm²）	接着強さ（N/mm²）		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

（1）表面状態　だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
（2）透水性　裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。
（3）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
（4）ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）（%）	引張接着性（材齢28日）（N/mm²）	曲げ性能（材齢28日）（N/mm²）	吸水性（72時間）（%）	耐久性（劣化曲げ強さ）（N/mm²）
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15%以下	5.0以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

・吸水調整材

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0以内	30分間で1以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4－1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法　[4.1.4]　[4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（m ℓ/m）	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	
		・	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	
		・	・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形）

検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充填工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備　考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

※充填工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

4－2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う（※全面　・図示の範囲）

2 ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による）

※樹脂注入工法　（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）　[4.1.4]　[4.4.2]　[4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（m ℓ/m）	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	
		・	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	
		・	・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形）

検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充填工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.4.6]

充填材料	品質・規格等	備　考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.4.7]
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・既存塗り仕上材の撤去及び補修　[4.4.2]　[4.6.3]
（※シール工法の範囲　・　）

3 欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部　[4.1.4]　[4.4.8､9]

改修工法の種類	材　料	品質・規格等
・充填工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕4.2.2（g）による 既製目地材 ・適用する （形状　※図示　・　）	塗厚25mmを超える場合の補強 ※行う　・行わない　・図示

4 浮き部改修工法

[4.1.4]　[4.4.10～15]　[表4.4.3､4]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m²）		注入口の箇所数（箇所/m²）		充填量又は注入量（箇所/mℓ）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	———	———	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	———	———	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの

注入口付アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径外径6mm

4－3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

① 既存タイル張りの撤去
・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面
・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

※樹脂注入工法　[4.1.4]　[4.3.4]　[4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（mℓ/m）	備　考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※130	
		・	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130	
		・	・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形）
検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法：　）

・Uカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面）　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.3.5]　[4.5.6]

充填材料	品質・規格等	備　考
・シーリング材	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

3 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　[4.1.4]　[4.2.2]　[4.5.7]
※ポリマーセメントモルタル
・タイル部分張替え工法用接着剤（・変成シリコーン樹脂系　・ウレタン樹脂系）

・タイル張替え工法　[4.1.4]　[4.5.8]
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　[4.5.8]　[表4.5.1]
位置　※改修標仕表4.5.1による　・図示

4 浮き部改修工法

[4.1.4]　[4.5.9～15]　[表4.4.3､4]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m²）		注入口の箇所数（箇所/m²）		充填量又は注入量（箇所/mℓ）
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	———	———	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	———	———	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・

アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径4mmの丸棒で全ねじ切り加工したもの

注入口付アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレス鋼（SUS304）、呼び径外径6mm

5 タイル張り

タイルの種類　[4.2.2]　[4.5.7､8]

施工箇所	形状寸法（mm）	うわぐすり		吸水率			耐凍害性		役物		色		再生材の適用 G	備考
		施ゆう	無ゆう	I	II	III	あり	なし	あり	なし	標準	特注		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がり（小口、標準、二丁、びょうぶ）の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う

壁タイル張りの工法　[4.5.7､8]　[表4.5.3]
外装タイル　※密着張り　・改良積上げ張り　・改良圧着張り
外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う　[4.2.2]

6 目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4]　[4.5.16]
既製調合モルタル　・使用する
・伸縮調整目地改修工法　[4.1.4]　[4.5.16]
シーリング用材料　[3.7.2]　[表3.7.1]
種類　※改修標仕表3.7.1による

縮　尺
－

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事

図面名称　改修工事特記仕様書－３

No. A-03

4－4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

① 既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3] [表4.6.2～5]

工　法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法	※既存仕上面全体	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法 加圧力 ※50MPa程度	※既存仕上面全体	・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

塗膜はく離剤の種類 [4.2.2]

② 下地調整

材料　※下地調整塗材 [4.2.2] [4.6.4]
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材を使用

③ 仕上塗材仕上げ

仕上塗材の種類、仕上げの形状等 [4.1.4] [4.2.2] [表4.2.3,4]

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・
	・可とう形外装薄塗材Si	・
	・外装薄塗材E	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸模様 耐候性　※耐候形3種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定 [4.2.2]
※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする。

5 建具改修工事

1 改修工法

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	※建具表による　・図示
・鋼製建具	・外部	・	・	※建具表による　・図示
	・内部	・	・	※建具表による　・図示
・鋼製軽量建具		・	・	※建具表による　・図示
・ステンレス製建具		・	・	※建具表による　・図示

2 見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：　　） [5.1.5]

3 防犯建物部品

・適用する（適用箇所は建具表による） [5.1.7]

④ アルミニウム製建具

性能等級等 [5.2.2] [表5.2.1]
外部に面する建具

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示
・B種	S－5	・	・	・	
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

防音ドアセット、防音サッシ　・適用する　遮音性の等級（　　）
断熱ドアセット、断熱サッシ　・適用する　断熱性の等級（　　）
耐震ドアセット　・適用する　面内変形追随性の等級（　　）
表面処理 [5.2.4] [表5.2.2]
外部に面する建具
※B－1種　・B－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
屋内建具
※C－1種　・C－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

網戸 [5.2.3]
防虫網の材種　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形式　※外部可動式　・固定式

5 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.3.2] [表5.3.1]
外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による [5.3.2] [表5.2.1]

6 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2]

7 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.3.2] [表5.3.1]
外部に面する建具の耐風圧性の適用は建具表による [5.3.2] [表5.2.1]
表面仕上げ　※HL　・鏡面 [5.5.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり） [5.5.5]

8 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　） (16.6.2)
ふすまの上張り (表16.6.3)
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材（合板）及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.6.2)
※規制対象外　・第三種

9 建具用金物

鍵 [5.6.4]
マスターキー　※製作する　・製作しない
鍵箱 [5.6.4]
市販品
形式　・30組用　・60組用　・120組用

10 自動ドア開閉装置

[5.7.2,3] [表5.7.1～3]

ドアの種類	センサーの種類
※スライディングドア	・マットスイッチ　※光線（反射）スイッチ
種類　・SSLD－1　・SSLD－2	・熱線スイッチ　・音波スイッチ
・DSLD－1　・DSLD－2	・光電スイッチ　・電波スイッチ
・スイングドア	・タッチスイッチ　・押しボタンスイッチ
種類　・SWD－1　・SWD－2	・ペダルスイッチ　・多機能便所スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による） [5.7.3]

11 自閉式上吊り引戸装置

材料　※ SUS304、アルミニウム製等防錆性能を有するもの [5.8.2]
・ 製造所標準仕様による
性能　※ 改修標仕5.8.3による [5.8.3] [表5.8.1]
・ 製造所標準仕様による

12 重量シャッター

[5.9.2]

シャッターの種類	性　能
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式 [5.9.2] [表5.9.1]
危害防止機構　※障害物感知装置　（自動閉鎖型） [5.9.2]
一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない [5.9.2]

13 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用） [5.10.2] [表5.10.1]
スラット　材質　※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） [5.10.3]
又はJIS G 3318（塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）
・鋼板
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形 [5.10.4]
ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） [表5.10.2]
耐風圧性能（　　）N/m²

14 オーバーヘッドドア

[5.11.2,3]

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	（SUS304）
		・バーチカル形	

耐風圧性能（　　）N/m²

⑮ ガラス

板ガラスの種類、厚さ等は建具表による [5.12.2]
・ガラスブロック [5.12.5]

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色　調	防火認定
・正方形	・	・	※クリア　・熱線反射	※なし
・長方形			・乳白色　・カラー（　　）	・あり

ガラス留め材 [5.12.2] [表5.12.1] [表3.7.1]

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.12.3]
改修標仕5.12.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質JIS A 5759による

6 内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 [6.1.3]
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 [6.1.3]
※既存のまま
・図示の範囲

② 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の除去　※仕上材のみ（接着剤共） [6.2.2]
・下地モルタル共（※図示の範囲　・除去範囲すべて）
合成樹脂塗床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法 [6.2.2]
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内 [6.2.2]

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2] [4.4.9]
※モルタル塗り（塗厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない）
・図示

④ 木材 G

表面仕上げの程度　・A種　※B種　・C種 [6.5.1] [表6.5.1]
現場搬入時の木材の含水率　※A種　・B種 [6.5.2] [表6.5.2]
保存処理木材　・使用する（使用箇所：　　） [6.5.2]
構造材及び下地材の品質の基準　※改修標仕6.5.2(a)(2)(iv)による [6.5.2]
造作材の材面の品質の基準　※A種　・B種 [6.5.2] [表6.5.3]
代用樹脂を使用しない箇所　（　　） [6.5.2] [表6.5.4]

5 集成材等 G

集成材及び単板積層材のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種 [6.5.2]

構造用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品　名	強度等級	材面の品質	接着性能	樹種名	寸法（mm）
			・1種 ※2種 ・3種	・使用環境A ・使用環境B ・使用環境C		

構造用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	接着性能	曲げ性能	樹種名	寸法（mm）
	・使用環境1 ・使用環境2			

造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種名	見付け材面の品質	寸法（mm）
		※1等　・2等	

化粧ばり造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	寸法（mm）
				※1等　・2等	

単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）
	※天然木化粧加工 ・塗装加工 ・化粧加工しない （・1等・2等・3等）	・する ・しない	

縮　尺
－

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事
図面名称　改修工事特記仕様書－４

No. A-04

6 内装改修工事

6 床張り用合板及びその他の合板 G

合板のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　[6.5.2]

普通合板　[6.5.2] [6.13.2]

施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理
（床）	5.5		※1類 ・2類	広葉樹　・1等 ※2等 針葉樹 ※C−D	・する ・しない	・難燃処理
（壁、天井）		・ラワン ・しな	・1類 ・2類		・する ・しない	難燃処理 ・防炎処理

構造用合板　[6.5.2]

施工箇所	厚さ（mm）	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理
（床）	12.0		・特類 ※1類	・1級 ※2級	※C−D ・	・する ・しない

天然木化粧合板　[6.13.2]

施工箇所	厚さ（mm）	化粧板の樹種名	接着の程度	防虫処理	その他の処理
（壁、天井）	・3.2 ※4.2 ・6.0	・なら ・しおじ	・1類 ・2類	・する ・しない	難燃処理 ・防炎処理

特殊加工化粧合板　[6.13.2]

施工箇所	厚さ（mm）	化粧加工の方法	表面性能	加工面	接着の程度	防虫処理	その他の処理
（壁、天井）	※4.0 ・	・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・F ・FW ・W ・SW	・表面 ・両面	・1類 ・2類	・する ・しない	難燃処理 ・防炎処理

7 防腐、防蟻処理

防腐処理　※行う（※改修標仕6.5.2(h)(3)による　・図示　）　[6.5.2]
防蟻処理　・行う（※図示　・　）　[6.5.2]
防腐、防蟻処理剤の種類及び品質　[6.5.2]
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

⑧ 接着剤（内装改修工事全般）

[6.5.2] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.5,6] [6.13.2] [6.14.2] [6.16.3]

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂（以下「ユリア樹脂等」という）又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

9 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1]
屋外（・19形　※25形）　屋内（※19形　・25形）
既存の埋込みインサート　・使用する　・使用しない　[6.6.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　・行わない　[6.6.4]
屋外の軒天井、ピロティ天井等　[6.6.3,4]
野縁受、吊りボルト、インサートの間隔及び周辺部からの距離　※図示
野縁の間隔　※図示
耐風圧性を考慮した補強　※図示
天井下地材における耐震性を考慮した補強　[6.6.4]
・行う（補強箇所　※図示　補強方法　※図示）

10 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類　※改修標仕表6.7.1による　・図示　[6.7.3] [表6.7.1]
スタッドの高さが5mを超える場合　※ 図示　[表6.7.1]

11 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

ビニル床シート及びビニル床タイルの特殊機能　[6.8.2]
帯電防止　・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上〜3.2未満
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10^{7} 〜$1\times10^{10}\Omega$程度
耐動荷重　JIS A 1454による、へこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、摩耗性試験、層間はく離強度試験（発泡層のあるビニル床シートのみ）及びキャスター性試験等の試験後、異常がないこと

ビニル床シート G　[6.8.2]

種　類	記号	施工箇所	色　柄	厚さ（mm）	特殊機能
※発泡層のないもの	※NC ・		※無地 ・マーブル柄	※2.5 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・発泡層のあるもの	・		※柄物 ・無地	・	・帯電防止 ・耐動荷重
・					

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　）　[6.8.3]

ビニル床タイル G　[6.8.2]

種　類	記号	施工箇所	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	特殊機能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ（半硬質）	CT		※無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ（軟質）	CTS		※無地 ・	・300×300 ・450×450	※2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	HT		※無地 ・	・300×300 ・450×450	※2.0 ・	・帯電防止 ・耐動荷重
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	HTL		※無地 ・	・500×500 ・	・	・帯電防止 ・耐動荷重

ビニル幅木　[6.8.2]
材質　※軟質　・硬質
高さ（mm）　※60　・75　・100
厚さ（mm）　※2.0

ゴム床タイル　[6.8.2]
色柄　（　）
厚さ（mm）　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法　（　）

12 カーペット敷き

織じゅうたん　[6.9.3] [表6.9.1]

種　別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備　考
・A種 ・B種 ・C種	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	※無地 ・柄物 （標準品）	※人体帯電圧 3kV以下 ・	

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ8mm

タフテッドカーペット　[6.9.3,4] [表6.9.2]

パイル形状	パイル長さ（mm）	工　法	帯電性	備　考
・カットパイル	※5〜7	※全面接着工法 ・グリッパー工法	※人体帯電圧 3kV以下 ・	
・ループパイル	※4〜6			
・レベルループパイル	※4			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ8mm

ニードルパンチカーペット　[6.9.3]
厚さ（mm）
帯電性　※人体帯電圧3kV以下
備考

タイルカーペット　[6.9.3,4]

パイル形状	種　類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	帯電性	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	※人体帯電圧3kV以下（ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ敷設範囲） ・	
・カットパイル					
・カット、ループ併用					

タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し
階段部分　※模様流し　・市松敷き
見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　※図示　・　）　[6.9.3]

13 合成樹脂塗床

[6.10.2,3] [表6.10.1〜7]

種　別	施工箇所	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材		※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材		※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量　[6.10.2]
※規制対象外　・第三種

14 フローリング張り

単層フローリング G　[6.11.2〜6] [表6.11.1,2]

種　類		樹　種	厚さ（mm）	大きさ（mm）	緩衝材	工　法
・フローリングボード	根太張用	※なら ・	※15 ・	幅　※75 長さ　500以上	※合成樹脂発泡シート ・	・釘留め工法
	直張用					・接着工法
・フローリングブロック	直張用	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	※合成樹脂発泡シート ・	・モルタル埋込み工法 ・接着工法
・モザイクパーケット	直張用	・なら ・	・8 ・	・	※合成樹脂発泡シート ・	接着工法

単層フローリングのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

天然木化粧複合フローリング G　[6.11.2,3,5,6] [表6.11.3,4]

種　類		樹　種	種別又は大きさ（mm）	防湿処理又は緩衝材	工　法
・複合1種 ・複合2種 ・複合3種	根太張用	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・防湿処理を行う	・釘留め工法
	直張用		厚さ　8以上 幅　75以上 長さ　900以上	※合成樹脂発泡シート ・	・接着工法

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・　第三種

仕上げ塗装　・塗装品　（　）　[6.11.7]
・無塗装品（・塗装する　施工箇所：　）
種類　※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインのうえワックス塗り
・生地のままワックス塗り

15 畳敷き

[6.12.2] [表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
・改修標仕　表6.5.9による床組	※B種
・ポリスチレンフォーム床下地	※C種

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

16 ポリスチレンフォーム床下地材

・A種（ノンフロンのもの） G
畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80（不燃）
フローリング類下地　厚さ（mm）　※80　・95　（不燃）

17 せっこうボード及びその他ボード張り

[6.13.2] [表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・せっこうボード	GB−R	・9.5（準不燃）　※12.5（不燃） ・15.0（不燃）
・シージングせっこうボード	GB−S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB−F	・12.5（不燃）　・15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB−L	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	GB−D	12.5（不燃）　幅440mm程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材付き
・不燃積層せっこうボード	GB−NC	9.5（不燃）　・化粧なし（下地張り用） ・化粧あり（トラバーチン模様）
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2（無石綿） ・6　・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃）・12　・　） ※凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12（不燃）・15　・19　・　）
・ロックウール吸音ボード1号	RW−B	・25
・グラスウール吸音ボード2号32K	GW−B	・25（ガラスクロス包）
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15　・20　・25
・普通木毛セメント板 G	NW	・15　・20　・25
・硬質木片セメント板 G	HF	・12　・15　・18　・21
・普通木片セメント板 G	NF	・30
・単板張りパーティクルボード G		・無研磨板（VN）　・研磨板（VS） ・10　・12　・15　・18
・化粧パーティクルボード G		・単板オーバーレイ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO）　・塗装（DC） ・10（難燃）　・12（難燃）
・ミディアムデンシティファイバーボード G	MDF	・素地MFD（RS） ・化粧MDF（・DV・DO・DC） ・3　・7　・9　・12
・ハードボード（素地） G	HB	・未研磨板（RN）　・研磨板（RS） ・2.5　・3.5　・5　・7
・ハードボード（化粧） G	HB	・内装用化粧（DI）　・外装用化粧（DE） ・2.5　・3.5　・5　・7
・インシュレーションボード G	IB	A級二次加工品 （・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量　[6.13.2]
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材　[6.13.2]
※適用する　・適用しない
合板類の張付け　・A種　※B種　[6.13.3] [表6.13.3]

縮　尺

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事
図面名称　改修工事特記仕様書−5

No. A-05

18 壁紙張り

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

壁紙のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種　[6.14.2]

下地調整　[6.14.3]［表7.2.4］［表7.2.5］［表7.2.7］

モルタル面、プラスター面　・RA種　※RB種　（施工箇所：　）

コンクリート面　・RA種　※RB種　（施工箇所：　）

せっこうボード面　・RA種　・RB種　（施工箇所：　）

19 モルタル塗り

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）　[6.15.3]

防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする。（JIS A 1404による試験）

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験8において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下（294.0kPaの水圧を1時間かける）

安定性、膨張性のひび割れ及びそりがないこと。（JIS R 5201の試験9）

吸水調整材は、4章外壁改修工事共通事項による。　[6.15.3]

既製目地材　※適用しない　・適用する　[6.15.3]

床目地　・設ける（工法　※押し目地　・　）　[6.15.6]

20 タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法（mm）	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	吸水率 Ⅰ	吸水率 Ⅱ	吸水率 Ⅲ	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用 G	備考
床	100角	⊙	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	
内壁	ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	⊙	・	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がり（小口、標準、二丁、びょうぶ）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※行わない　・行う

コンクリート素地面の目荒し工法（高圧水洗）　・行う　[6.16.5]

内装壁タイル張りの工法　※壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　[6.16.5]［表6.16.5］

21 セルフレベリング材塗り

[6.17.2]［表6.17.1］

・せっこう系（施工箇所及び厚さ　※仕上表による　・図示　・　）

・セメント系（施工箇所及び厚さ　※仕上表による　・図示　・　）

22 浴室天井材

市販品

材質	表面仕上げ	性能	幅（mm）	備考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品	準不燃品	※200	回り縁はとい付きとし、製造所の標準品とする。
	・アルマイト処理品		・100	
・硬質塩ビ製	※塗装品		※300	
	・木目調		・100	

23 フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上材	備考
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

耐震性能5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上材の品質、性能は、標仕19章による。

構成材の材質　・アルミニウム製　・鋼製

スロープ及びボーダー　※製造所の仕様による　・図示

配線用取出しパネル

フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※20～30%

配線取出し開口　※パネル1枚につき40×80（mm）程度の開口1箇所以上　・図示

空調用吹出し（吸込み）パネル

※なし

・あり（※固定式　・可変式）：施工箇所（※図示　・　）

コンセント等の取付け対応　※製造所の仕様による　（コンセント本体は別途設備工事）

コンセントの箇所数　※図示

ローリングロード性能　※適用する　・適用しない

24 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式（・内臓　・露出） ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板（※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・あり　（　） ・なし	・あり ・なし

25 移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は18壁紙張りによる。

遮音性能はJIS A 6512の遮音性試験に準拠する。

26 トイレブース

表面仕上げ材　(20.2.5)

表面材の材質	脚部 形状	脚部 材質	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板	※幅木	・アルミニウム製	⊙標準	・アルミニウム製
・ポリエステル樹脂系化粧板	⊙支柱	⊙ステンレス製	・R	⊙ステンレス製
・	・なし			・表面材と同材
・				

27 階段滑り止め

(20.2.6)

材種	幅（mm）	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製（SUS304）ビニルタイヤ入り	・約35 ・	※接着工法 ・埋込み工法	※あり（※ビニル製　・ステンレス製） ・なし

28 階段手すり

材種	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
※集成材	※クリヤラッカー	・60　・45	
・ステンレスパイプ	・HL		
・鋼製パイプ	・EP-G		
・ビニル製			

29 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種類		寸法（mm）	色彩	備考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

30 表示

(20.2.10)

区分	材質	寸法（mm）	厚さ（mm）	取付け高さ	書体
・衝突防止表示（・両面　・片面）	※ステンレス製 ・図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・	
・室名札 ⊙ピクトグラフ ・扉番号 ・階数表示	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・建物案内板 ・各階案内板	※アクリル板 ・	※図示	※5 ・	※図示 ・	
・					

案内用図記号はJIS Z 8210による。

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。

31 ブラインド

・既存再使用する（養生方法：　）　[2.3.1]［5.1.6］

・新設する　(20.2.12)

形式	種類	スラットの材質	スラットの幅（mm）	施工箇所
※横形	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25 ・	
・縦形	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	

32 ロールスクリーン

材種	操作方式	遮光性能	寸法（mm）	施工箇所	備（2参2.13）
※ポリエステル ・綿 ・	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級 ・	・図示 ・		防炎性能　※あり

33 カーテン

・既存再使用する（養生方法：　）　[2.3.1]［5.1.6］

・新設する　(20.2.14)

形式		開閉操作	ひだの種類	施工箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・電動 ・ひも引き ・手引き	・フランスひだ ・箱ひだ・つまひだ ・ブレーンひだ・片ひだ		
			・		（暗幕）
			・		

34 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]

・新設する　(20.2.14)

材種　※アルミニウム製　・ステンレス製

形式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする）

形状　・C形　・D形　・Ⅰ形

35 ブラインドボックス及びカーテンボックス

・既存再使用する　[5.1.6]

・新設する

・市販品（アルミニウム製　押出形材）

溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・

表面処理　※B−1　・B−2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

・図示

36 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	・450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ	・額縁タイプ ・目地タイプ
		・密閉形			

37 床点検口

材種	寸法	形式		
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製 ・鋳鉄製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ・屋内用	・張物用 ・充填用 ・張物、充填兼用

38 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込み型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

縮尺　−

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事

図面名称　改修工事特記仕様書－6

No. A-06

6 内装改修工事

39 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

(19.2.2)

施工箇所		種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）
屋内		※塩化ビニル製	※300×300	※7.0
		・レジンコンクリート製	※300×300	
		・磁器又はせっ器質タイル	※300×300	
屋外		※レジンコンクリート製	300×300	※30
		・磁器又はせっ器質タイル	300×300	

ブロックパターンはJIS T 9251による。

40 くつふきマット

材　種	受　枠	備　考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

41 流し台ユニット

種　類	寸法（L ＝ mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※あり	（セクショナルキッチンⅠ型）
・吊戸棚	※1200 ・900 ・600		・
・水切棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

42 洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　(・)人工大理石

奥行き（mm）　・約450　・約600　(・)500

43 収納家具

材質　[6.5.2][6.13.2]

形状・寸法　※図示

合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外　・第三種

44 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種

45 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製

表面の材質　※塩ビ発泡シート張り

7 塗装改修工事

(1) 材料

建物内部に使用する場合のホルムアルデヒド放散量　[7.1.3]

※F☆☆☆☆　・第三種

建物内部に使用する塗料の材質　・水性系

防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。　[7.1.3]

・次の箇所を除き防火材料とする。（施工箇所：　　）

(2) 下地調整

既存塗膜の除去範囲（塗替えでRB種の場合）　[7.2.1]［表7.2.1～7］

※塗替え面積の30%　・図示

下地調整の種別等　[7.2.2～7]［表7.2.1～7］

下地面の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修
	塗替え	新　規	
木部	※RB種	・RA種 ・RB種	
鉄鋼面	※RB種	RA種	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具を除く）	※RB種	RA種	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※RB種	RC種	
モルタル面、プラスター面	※RB種	・RA種 ・RB種	・行う
コンクリート面、ALCパネル面（2-UE,2-ASE,2-FUEは除く）	※RB種	・RA種 ・RB種	・行う
コンクリート面、押出成形セメント板面（2-UE,2-ASE,2-FUEの場合）	・	・RA種 ・RB種	・行う
せっこうボード面、その他ボード面	※RB種	・RA種 ・RB種	

(3) 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別等　[7.3.2,3]［表7.3.1～4］

塗装面		塗料種別	工程種別	備　考
鉄鋼面	屋外	※A種 ・B種	※C種	
	屋内	・A種 ※B種	※C種	
		C種	※C種	EP-Gの場合
亜鉛めっき鋼面	塗替え	※A種 ・B種	※C種	
		C種	※C種	EP-Gの場合
	新規（鋼製建具を除く）	※A種 ・B種	・A種 ・B種	
		C種	・A種 ・B種	EP-Gの場合
	新規鋼製建具	※A種 ・B種	A種	2-UE,2-ASE,2-FUEは除く

(4) 塗装

[7.4.1～7.16.2] ［表7.4.1～7.16.1］

塗装の種類	塗装面		工程 塗替え	工程 新規
(・)合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗料の種類 ※1種	木部		※B種	※A種
	鉄鋼面		※B種	・A種 ・B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具を除く）		※B種	※B種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）		※A種	※B種
・クリヤラッカー塗り（CL）	木部		・A種 ※B種	・A種 ※B種
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）	屋内木部		※B種	・A種 ・B種
	屋内鉄鋼面		※B種	・A種 ・B種
	屋内亜鉛めっき鋼面		※B種	・A種 ・B種
・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り（NAD）	屋内コンクリート面		※B種 ・A種	※B種 ・A種
	屋内モルタル面		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・アクリル樹脂エナメル塗り（AE）	屋外コンクリート面		※B種	・A種 ・B種
	屋内モルタル面		※B種	・A種 ・B種
・2液形ポリウレタンエナメル塗り（2-UE）	屋外鉄鋼面		・	A種
	屋外亜鉛めっき鋼面		・	A種
	屋外コンクリート面		・A種 ・B種	・A種 ・B種
	屋外押出成形セメント板面		・A種 ・B種	・A種 ・B種
・アクリルシリコン樹脂エナメル塗り（2-ASE）	屋外鉄鋼面		※B種	A種
	屋外亜鉛めっき鋼面		※B種	A種
	屋外コンクリート面		※B種 ・A種	※B種 ・A種
	屋外押出成形セメント板面		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り（2-FUE）	屋外鉄鋼面		・	A種
	屋外亜鉛めっき鋼面		・	A種
	屋外コンクリート面		・A種 ・B種	・A種 ・B種
	屋外押出成形セメント板面		・A種 ・B種	・A種 ・B種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	屋内木部		※B種	※A種
	屋内鉄鋼面		※B種	・A種 ・B種
	屋内亜鉛めっき鋼面		※B種	・A種 ・B種
	コンクリート面		※B種	・A種 ・B種
	モルタル面・プラスター面		※B種	・A種 ・B種
	せっこうボード面 その他ボード面		※B種	・A種 ・B種
(・)合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）	コンクリート面		※B種	・A種 ・B種
	モルタル面・プラスター面		※B種	・A種 ・B種
	せっこうボード面 その他ボード面		※B種	・A種 ・B種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）	屋内のコンクリート面・モルタル面プラスター面・せっこうボード面等	下地調整		
		RA種	※B種	・A種 ・B種
		RB種	A種	・A種 ・B種
		RC種	C-3種	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	木部		・A種 ※B種	・A種 ※B種
・オイルステイン塗り（OS）	木部			
・マスチック塗材塗り A種及びC種の凸面処理 ・行う ・行わない	コンクリート面		・	・A種
	押出成形セメント板面		・	・
	モルタル面		・	・
	ALCパネル面		・	・
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄面		・	・
	屋外亜鉛めっき鋼面		・	・
	コンクリート面		・	・
	押出成形セメント板面		・	・
・フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）	鉄面		・	・
	屋外亜鉛めっき鋼面		・	・
	コンクリート面		・	・

8 耐震改修工事 共通事項

1 適用範囲

工事内容　・鉄筋コンクリート造骨組　[8.1.1]
・鉄筋鉄骨コンクリート造骨組及び鉄骨造骨組の耐震改修工事の鉄筋工事
・あと施工アンカー工事
・コンクリート工事
・鉄骨工事
・グラウト工事
・連続繊維補強工事
・スリット新設工事
・免震改修工事
・制震改修工事

工事種別　・施工調査（施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修）
・撤去工事（設備機器配管及び仕上げの取壊し・撤去（下地の一部又はすべてを含む）、構造体のはつり）
・鉄筋工事
・あと施工アンカー工事
・コンクリート工事
・鉄骨工事
・グラウト工事
・連続繊維補強工事
・スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・その他工事

8-1 撤去工事

(1) 既存部分の撤去等

撤去範囲　[8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] [8.23.3]
※図示
既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断　[8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] [8.23.3]
※図示
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置　[8.19.2] [8.20.2] [8.21.2] [8.22.2] [8.23.3]
※露出部分は、錆止め塗料塗りを行う

(2) 既存部分の処理

既存コンクリート面の目荒し　[8.19.3] [8.20.3] [8.21.3]
適用範囲
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面

目荒しの範囲
・柱、梁面　打継ぎ面又は接合面全面の15～30%程度
・壁　打継ぎ面又は接合面全面の10～15%程度

目荒しの程度
※平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹面を、全体にわたってつける。

8-2 鉄筋工事

1 鉄筋

鉄筋の種類　[8.2.1]［表8.2.1］

種類の記号	呼び名（mm）
・SD295A	※D16以下
・SD345	※D19以下
・	

2 溶接金網

網目の形状、寸法等　[8.2.2]

網目の形状、寸法（縦×横）（mm）	鉄線の径又は呼び名（mm）	規　格
※100×100	※6.0	JIS G 3551による
・	・	

3 鉄筋の継手及び定着

継手方法等　[8.3.4] [8.4.2,3]

部　位	継手方法	呼び名（mm）
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手	
その他の鉄筋（　　）	※重ね継手	

鉄筋の重ね継手の長さ　[8.3.4]
※鉄筋の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）
・

鉄筋の定着長さ　[8.3.4]
※鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第73条による。（図示）
・

帯筋組立の形の種別　[8.3.4]［図8.3.4］
・W－Ⅰ形　・W－Ⅱ形　・W－Ⅲ形

縮尺　－

工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事

図面名称　改修工事特記仕様書－7

No. A-07

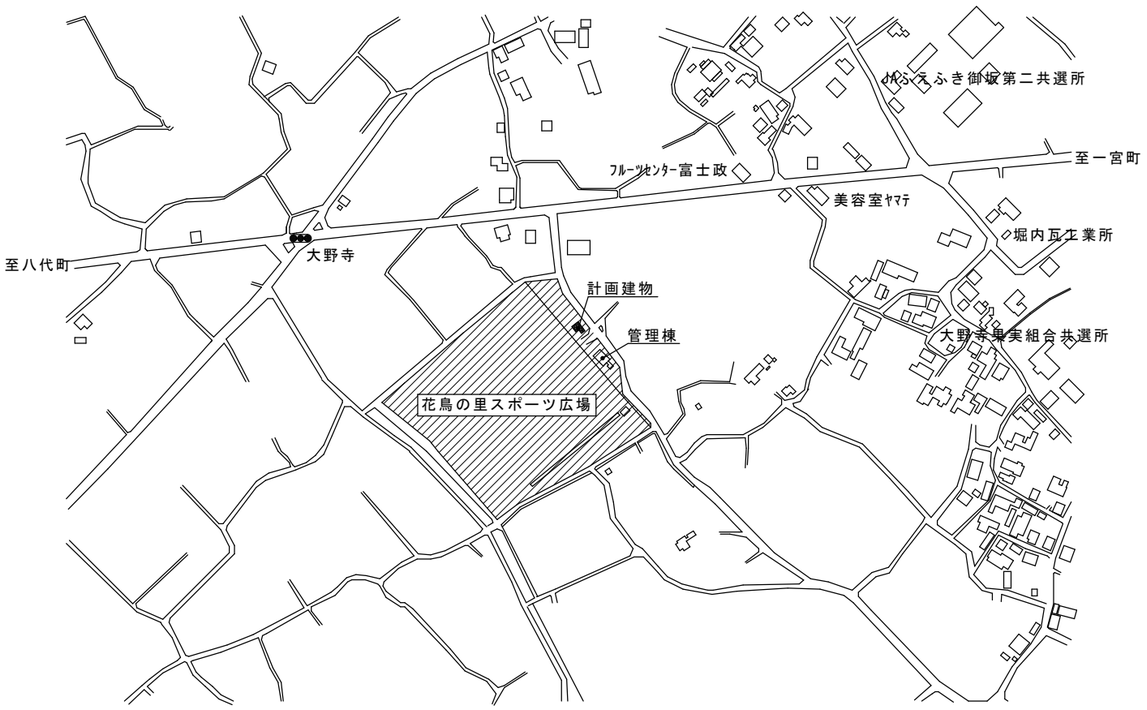
外部仕上表

屋根	既存	平型ｽﾚｰﾄ葺き ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ 野地板	外壁	既存	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上、金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ貼
					一部、45二丁掛ﾀｲﾙ貼
	改修	既存ｽﾚｰﾄ下地調整ノ上 ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂系塗装		改修	既存金属ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ、ﾀｲﾙ撤去、下地調整の上 ｶﾗｰﾓﾙﾀﾙ塗
					腰壁：窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=16（木目）横貼 同材竪縁押エ 腰見切縁：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板加工
樋	既存	軒樋:硬質塩ビ製 縦樋:SGP φ100 OP塗装	巾木	既存	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ仕上
	改修	既存撤去ノ上		改修	高圧洗浄
		軒樋:硬質塩ビ前高130WIDE 吊金具@455 竪樋:ステンレスHLハードコート80φ			
ポーチ	既存	床:ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	軒裏	既存	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 EP塗装
	改修	既存仕上下地共撤去、下地調整ノ上		改修	既存軒天、撤去の上
		床:ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質100角ﾀｲﾙ貼 昇り口:段鼻タイル			珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 一部有孔珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 EP塗装
サイン	既存	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ200角 4か所	破風・鼻隠	既存	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 ｱｸﾘﾙﾀｲﾙ吹付
	改修	既存ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ撤去、ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ200角 3ヶ所		改修	窯業系ﾊﾟﾈﾙ EP塗装

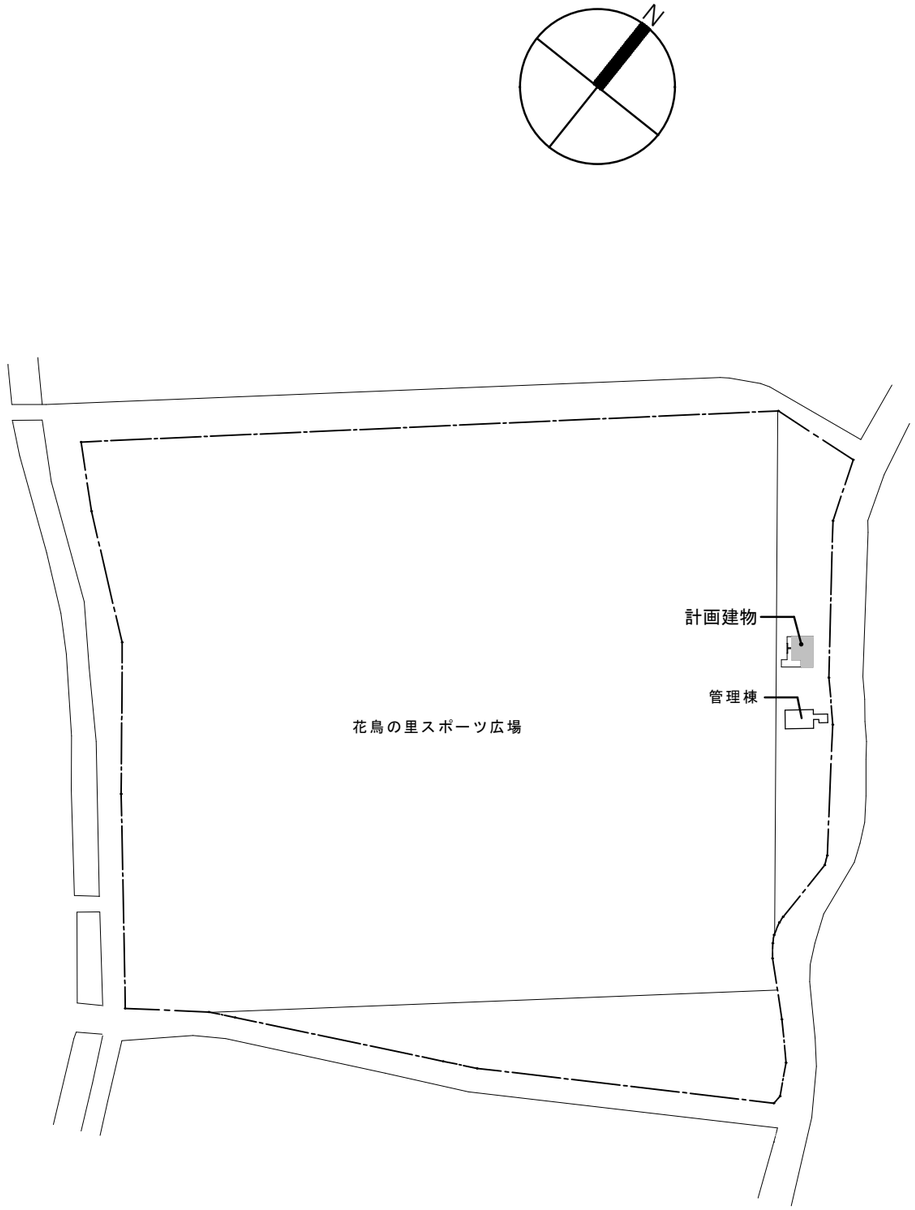
内部仕上表

室名		床	巾木	壁	天井	天井高	廻縁	備考
男子ﾄｲﾚ	既存	ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	100角ﾀｲﾙ	100角ﾀｲﾙ貼	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 EP塗装	2,310 ～ 3,670	ー	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、小便器、大便器、洗面ｶｳﾝﾀｰ
	改修	既存仕上下地共撤去、下地調整ノ上	同 左	既存仕上下地共撤去、耐水P.Bt=12.5（GL工法）	既存天井撤去ノ上 木天井組	2,590 ～ 3,917	木製	既存大便器、小便器、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ撤去
		ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質100角ﾀｲﾙ貼	H100	単色不燃化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0ｶﾗｰD-112	PBt=9.5下地			大便器、小便器、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ
		汚垂石：山西黒 t=25 前面面取り		一部、 15mm角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	単色不燃化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0ｶﾗ D-021			巾木見切り、出隅見切り、入隅見切り、天端見切りはｶﾗｰｱﾙﾐ
女子ﾄｲﾚ	既存	ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	100角ﾀｲﾙ	100角ﾀｲﾙ貼	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 EP塗装	2,310 ～ 3,670	ー	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、小便器、大便器、洗面ｶｳﾝﾀｰ
	改修	既存仕上下地共撤去、下地調整ノ上	同 左	既存仕上下地共撤去、耐水P.Bt=12.5（GL工法）	既存天井撤去ノ上 木天井組	2,590 ～ 3,917	木製	既存大便器、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ撤去
		ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質100角ﾀｲﾙ貼	H100	単色不燃化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0ｶﾗｰD-110	PBt=9.5下地			大便器、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ、洗面ｶｳﾝﾀｰ
				一部、 15mm角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼	単色不燃化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0ｶﾗ D-021			巾木見切り、出隅見切り、入隅見切り、天端見切りはｶﾗｰｱﾙﾐ
多目的ﾄｲﾚ	既存	ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ	100角ﾀｲﾙ	100角ﾀｲﾙ貼	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 EP塗装	2,480 ～ 3,155	ー	腰掛便器、手摺、手洗器
	改修	既存仕上下地共撤去、下地調整ノ上	同 左	既存仕上下地共撤去、耐水P.Bt=12.5（GL工法）	既存天井撤去ノ上 木天井組	2,760 ～ 3,402	木製	既存腰掛便器、手摺、手洗器、ドア撤去
		ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質100角ﾀｲﾙ貼	H100	単色不燃化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0ｶﾗｰD-111	PBt=9.5下地			腰掛便器、手摺、手洗器、折戸
				一部、 15mm角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り	単色不燃化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0ｶﾗ D-021			巾木見切り、出隅見切り、入隅見切り、天端見切りはｶﾗｰｱﾙﾐ
内部小屋組木部	既存							木材保護塗料塗装
	改修							下地調整ノ上 木材保護塗料再塗装

	縮尺	工事名称 花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-08
		図面名称 仕上表	

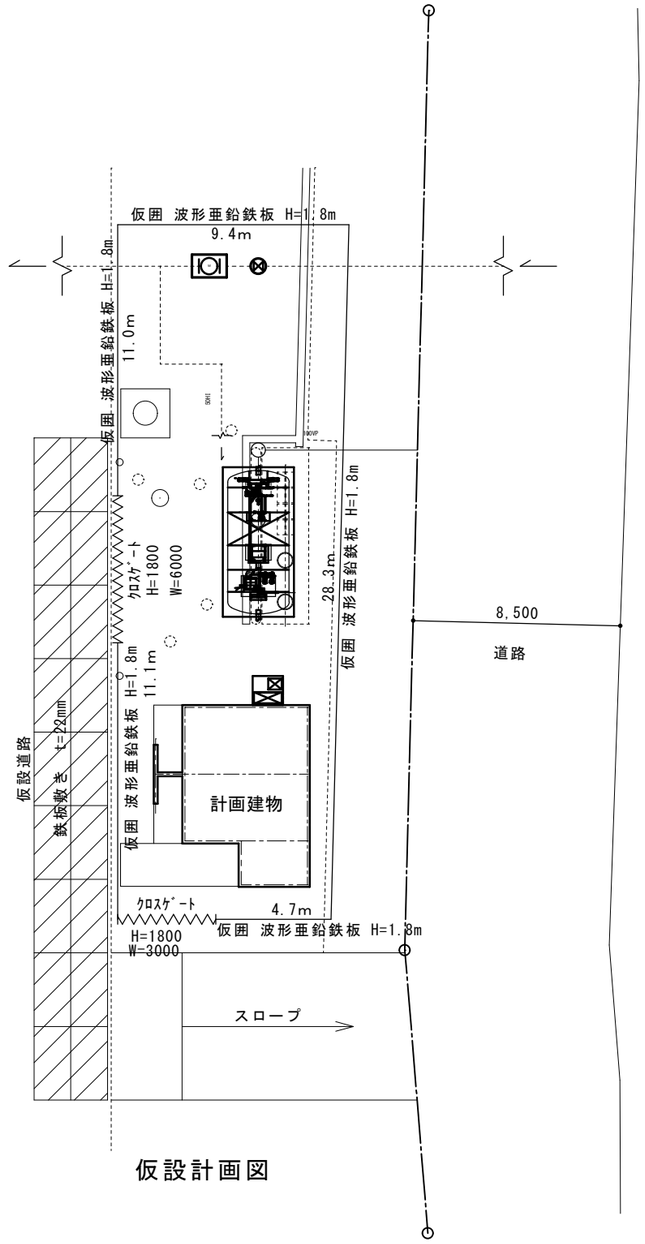


案内



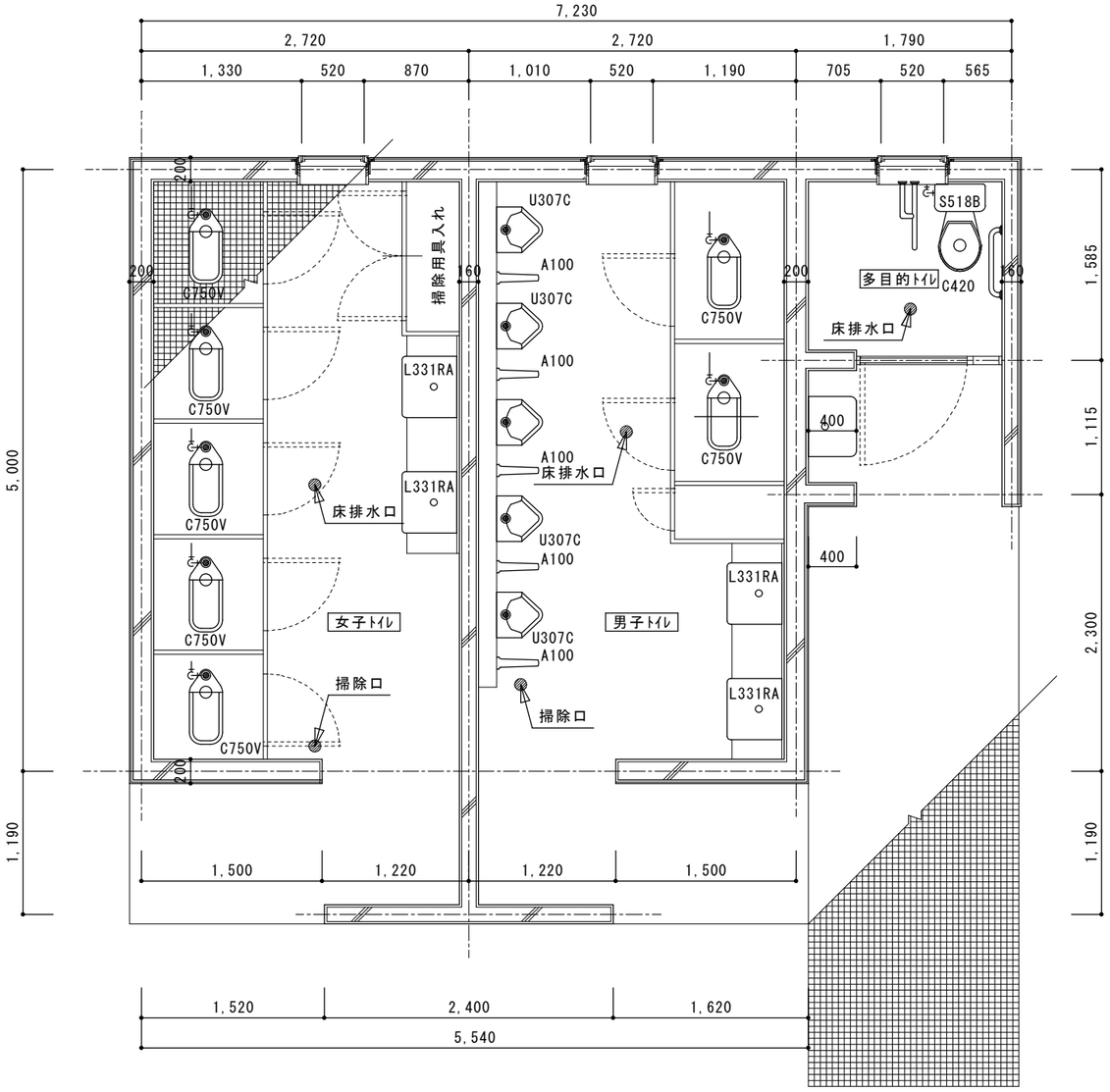
配置図

		縮　尺 1/1000	工事名称　花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事	No. A-09
			図面名称　案内図・配置図	

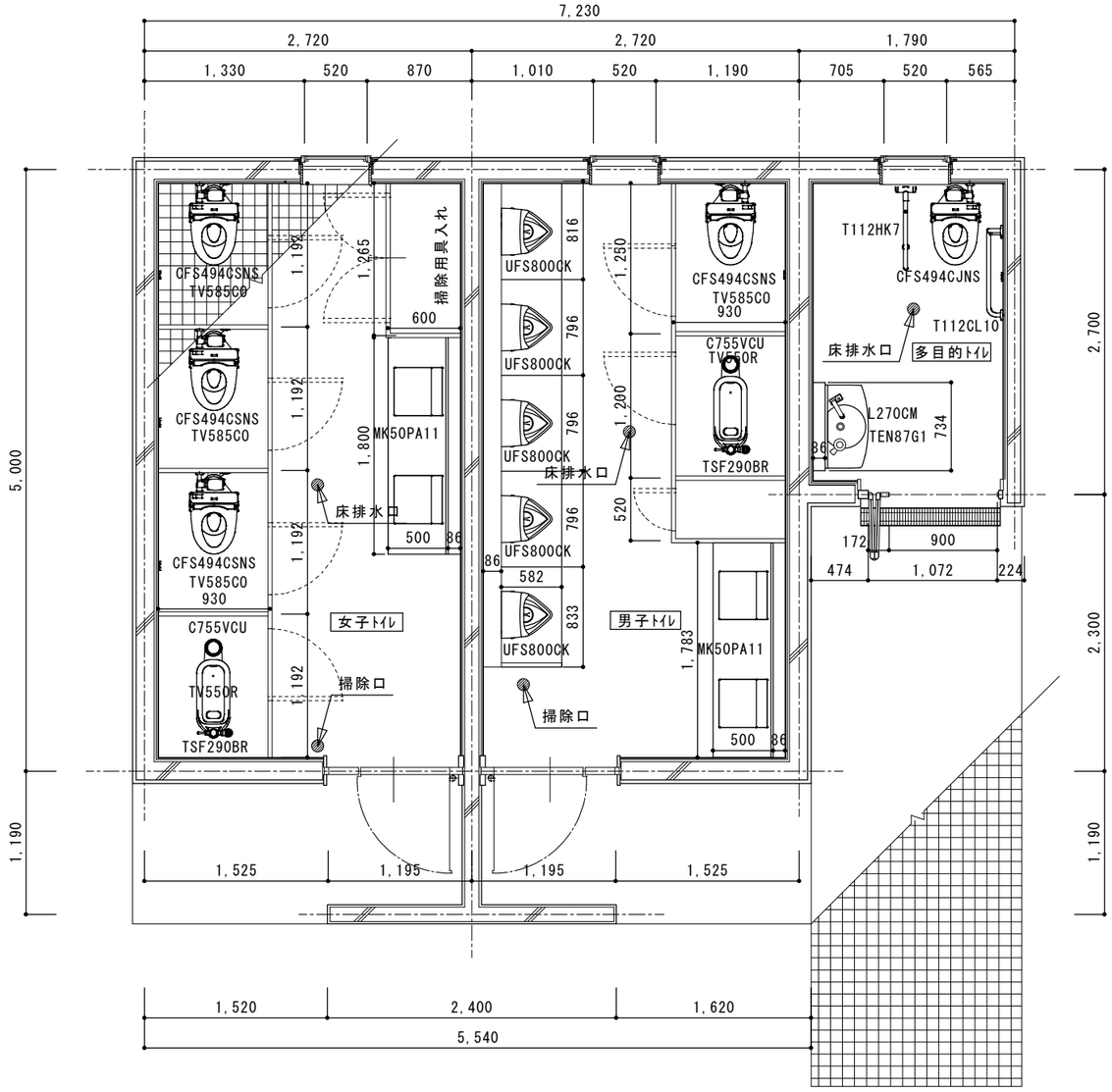


仮設計画図

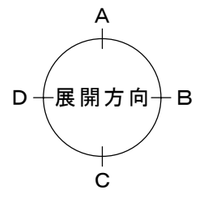
		縮　尺 1/250	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-10
			図面名称　仮設計画図	



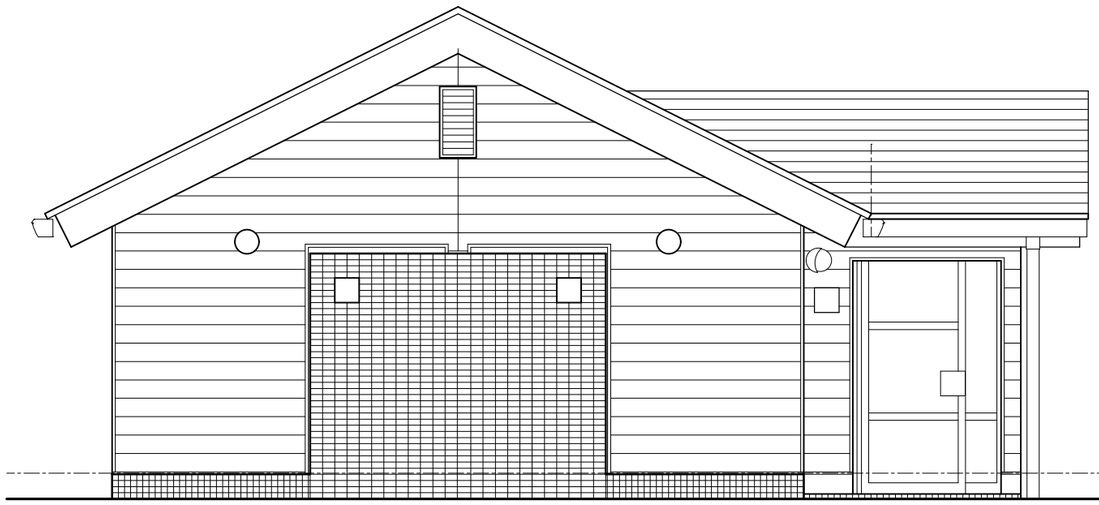
既存平面詳細図　1：50



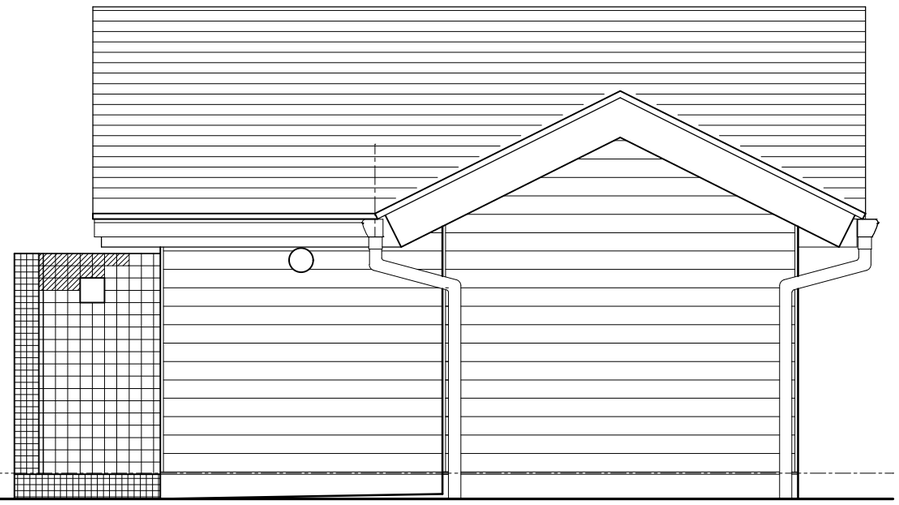
改修平面詳細図　1：50



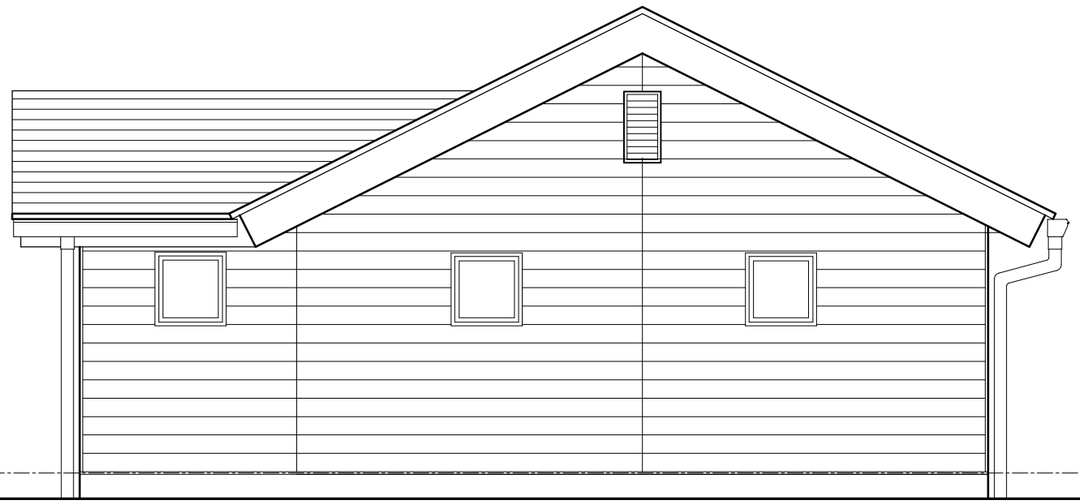
		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-11
			図面名称　既存平面詳細図・改修平面詳細図	



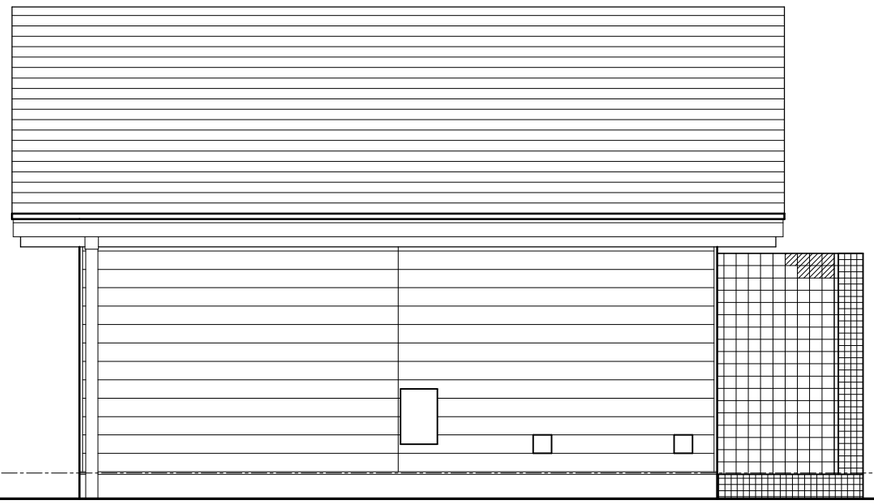
既存 南立面図　1：50



既存 東立面図　1：50



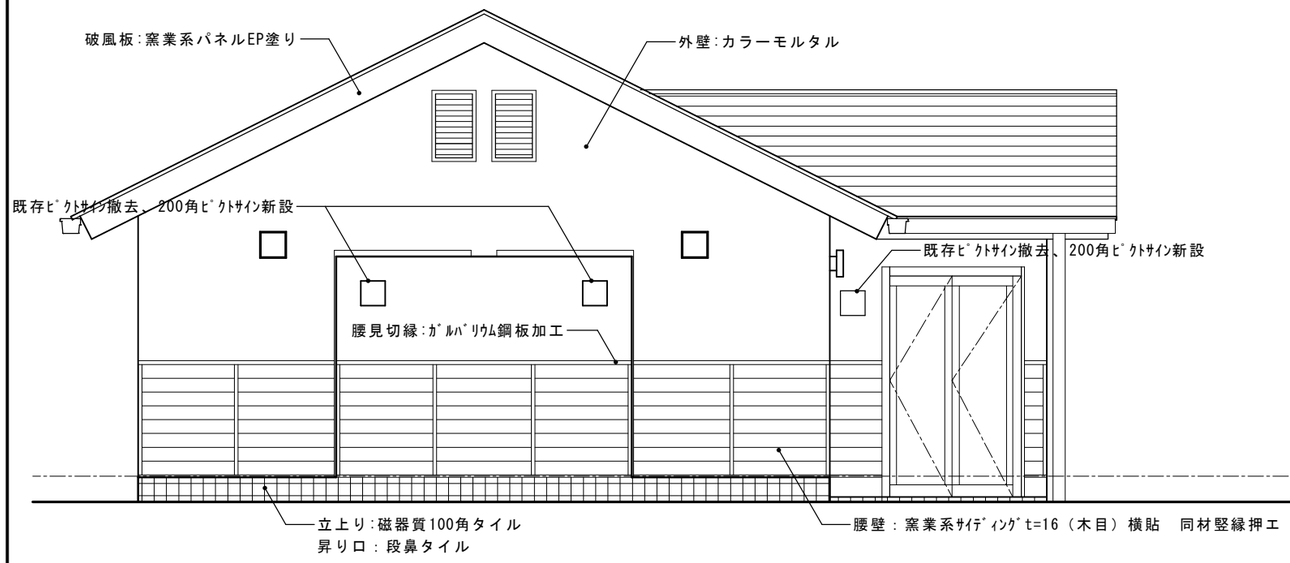
既存 北立面図　1：50



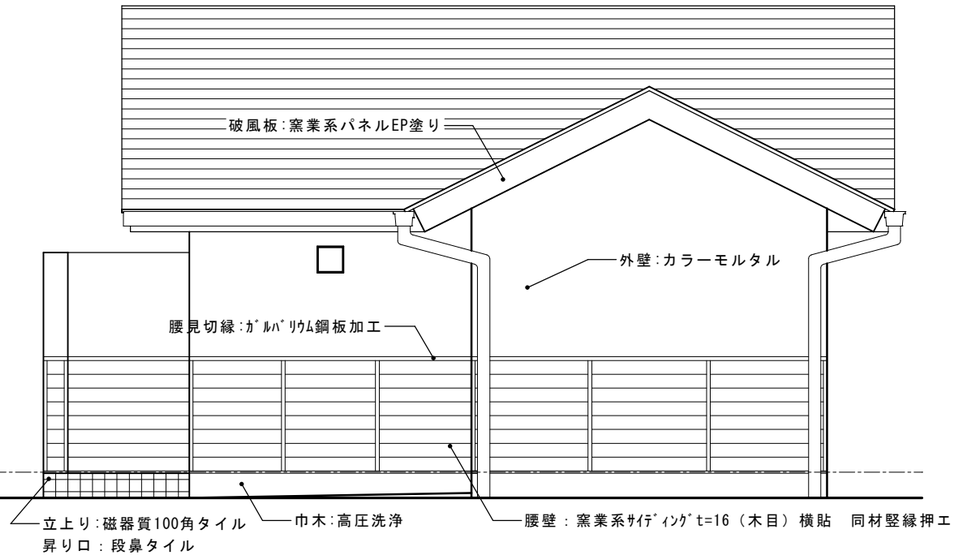
既存 西立面図　1：50

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事
			図面名称　既存 立面図

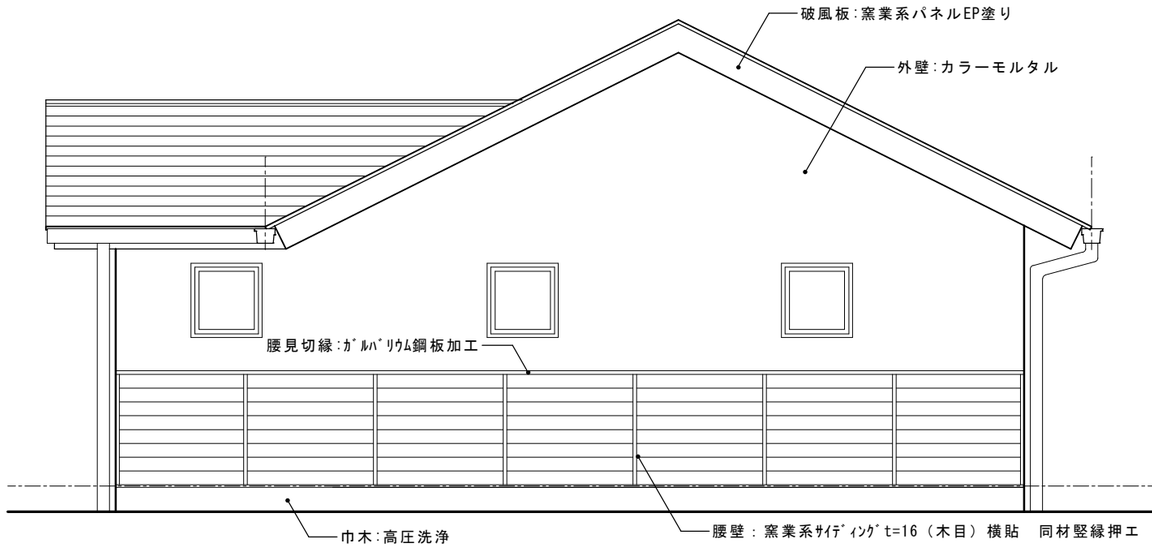
No. A-12



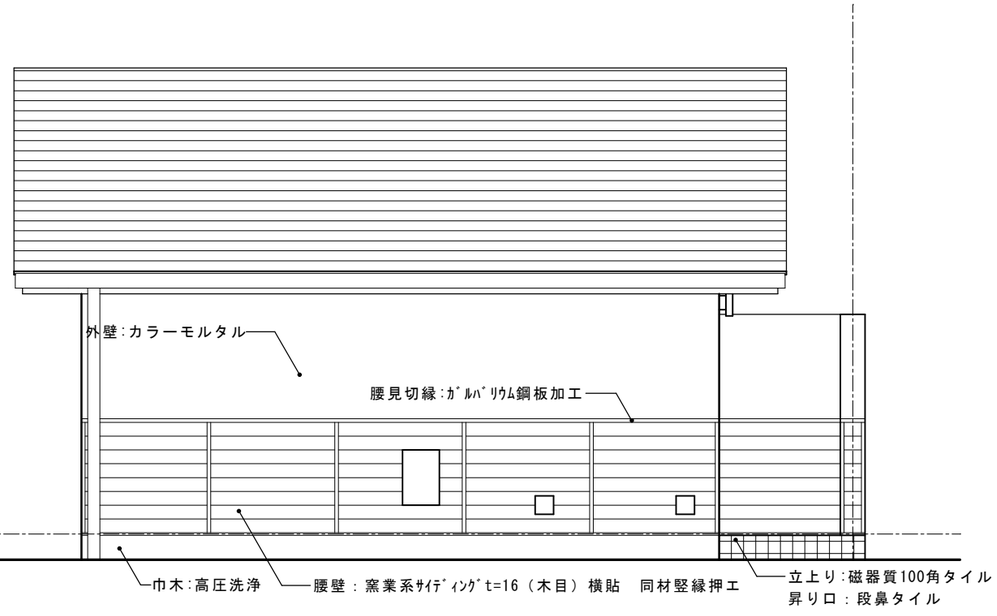
改修 南立面図　1：50



改修 東立面図　1：50

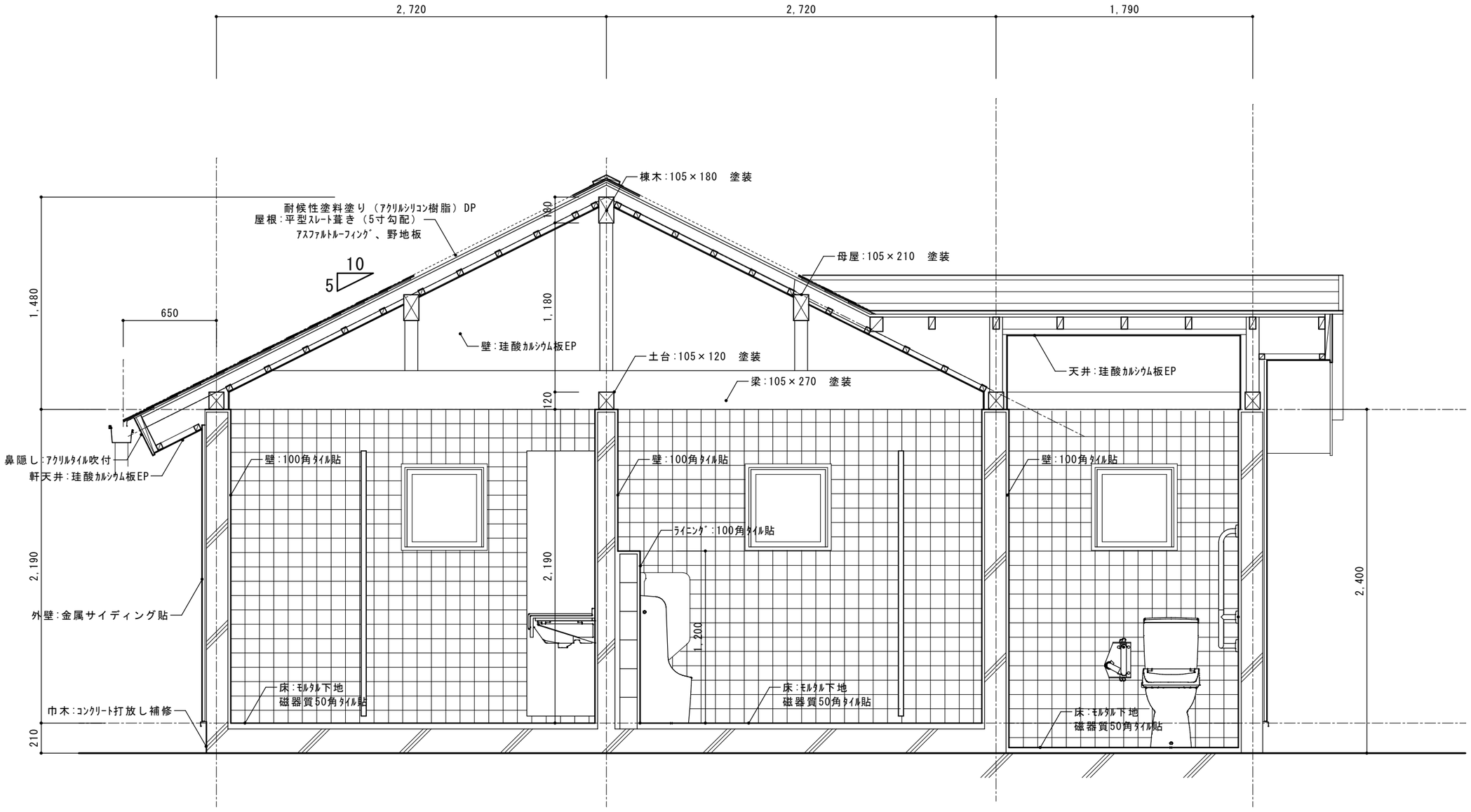


改修 北立面図　1：50



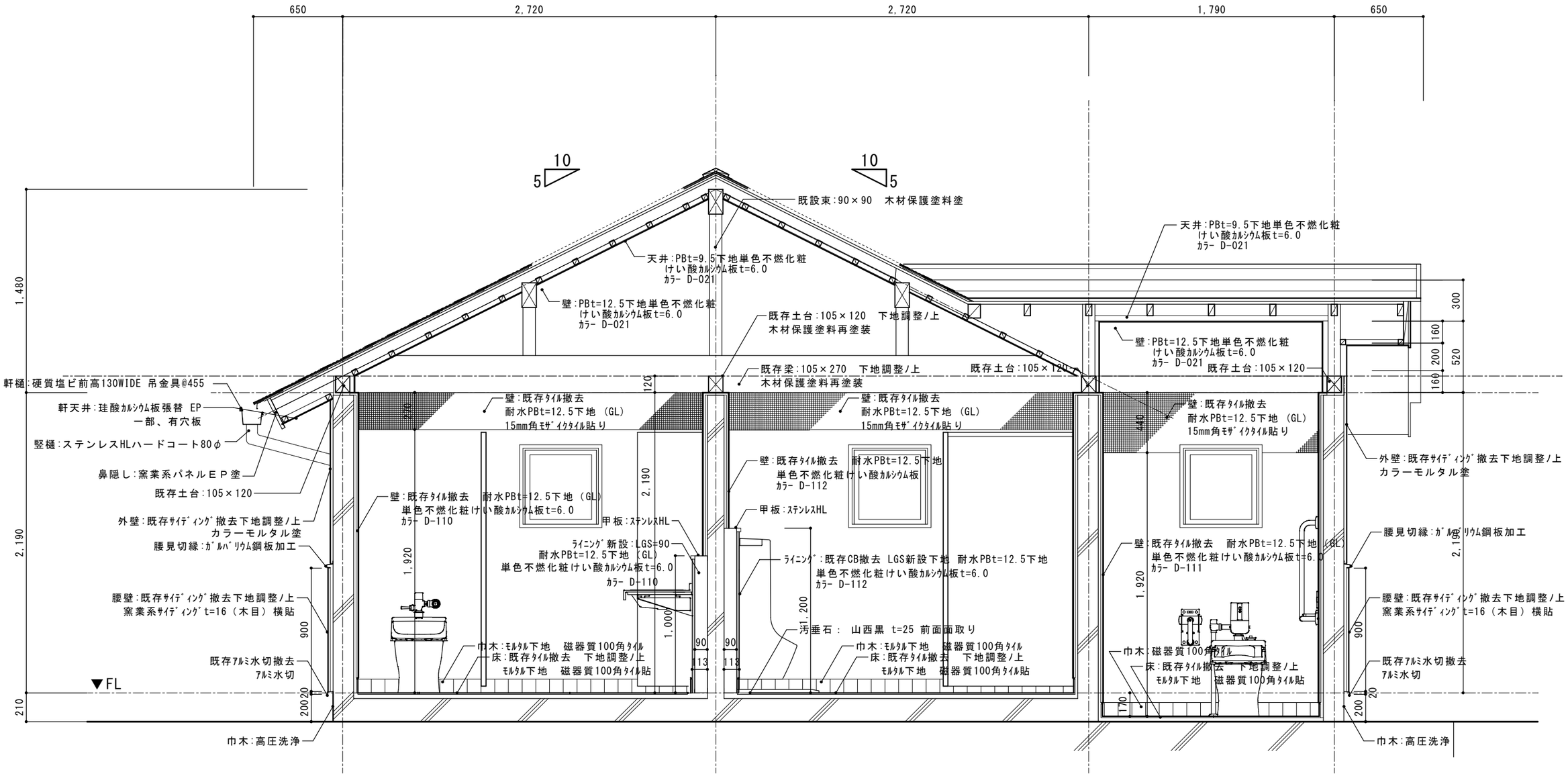
改修 西立面図　1：50

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-13
			図面名称　改修 立面図	



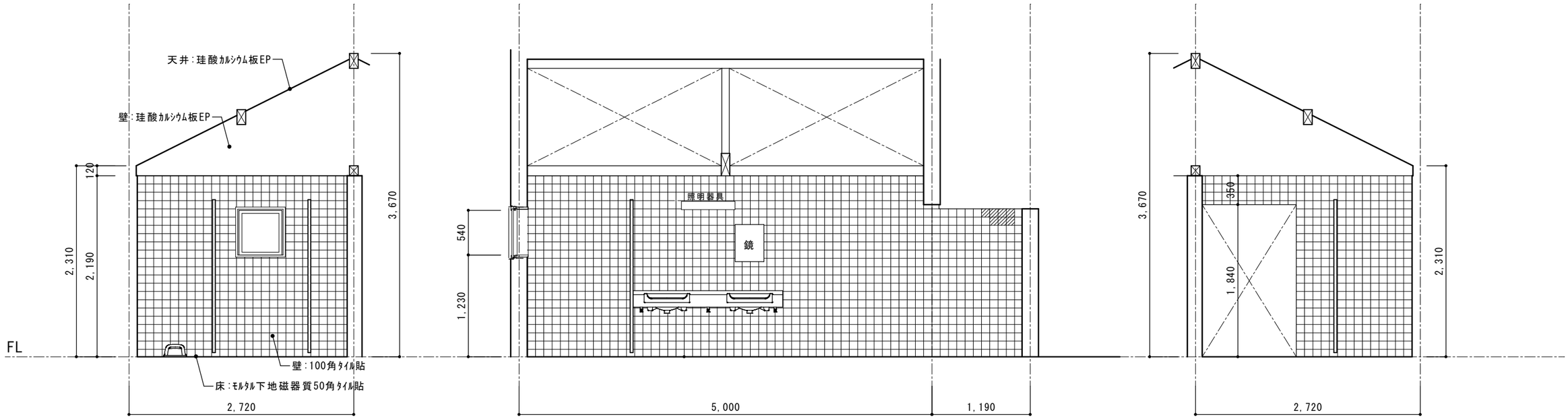
既存 矩計図　1：30

		縮　尺 1/30	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-14
			図面名称　既存 矩計図	

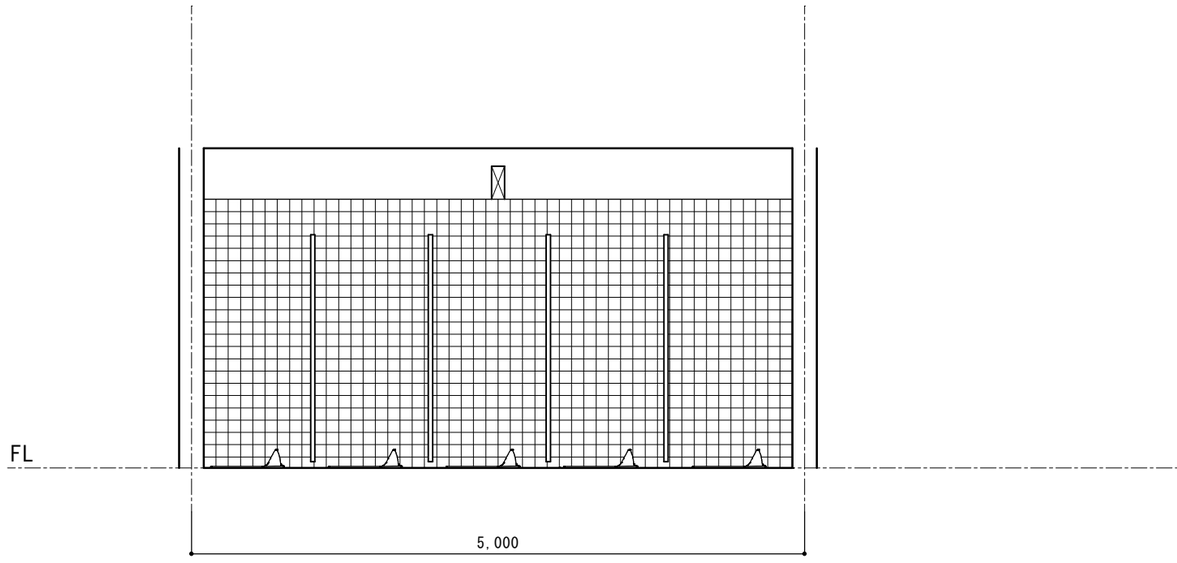


改修 矩計図　1：30

		縮　尺 1/30	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-15
			図面名称　改修 矩計図	

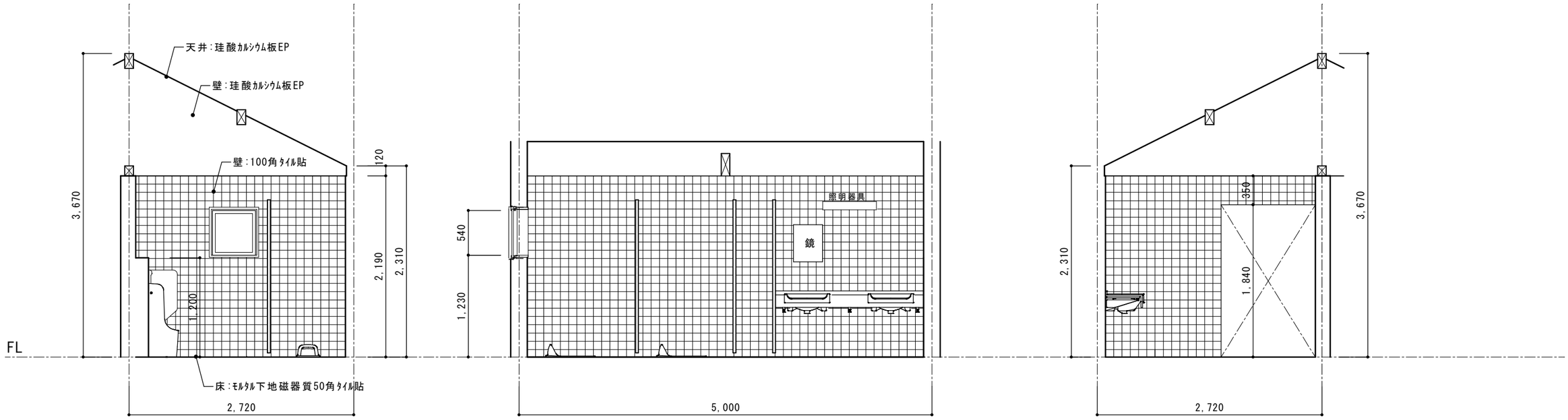


女子ﾄｲﾚ　　A 面　　B 面　　C 面

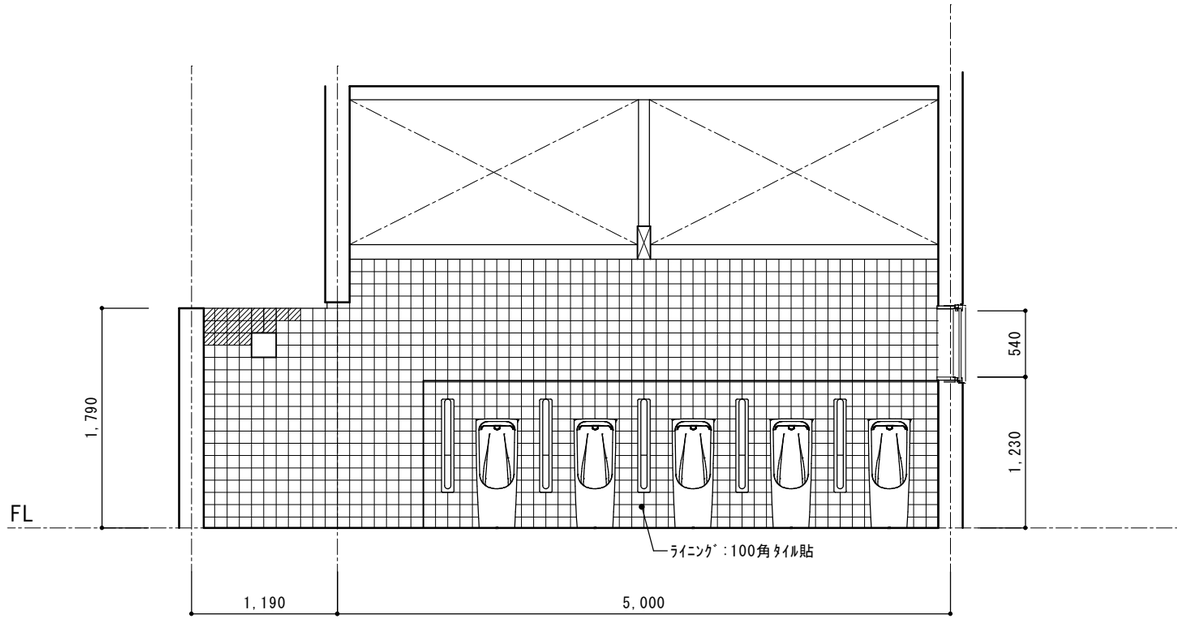


D 面

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-16
			図面名称　既存　展開図-1	

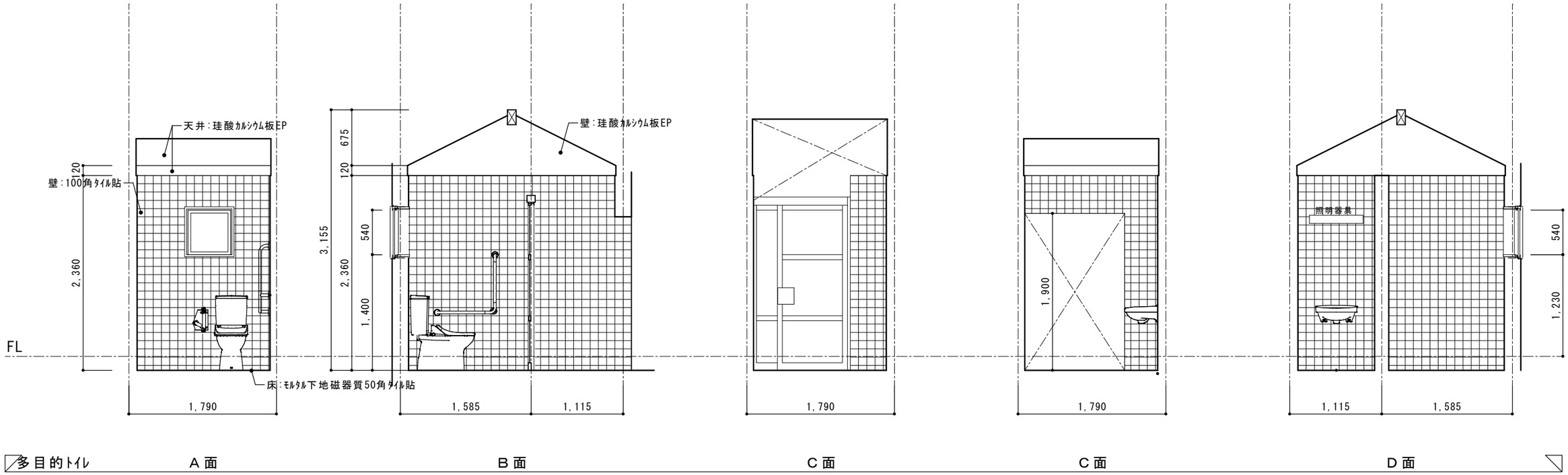


男子ﾄｲﾚ　　A面　　B面　　C面



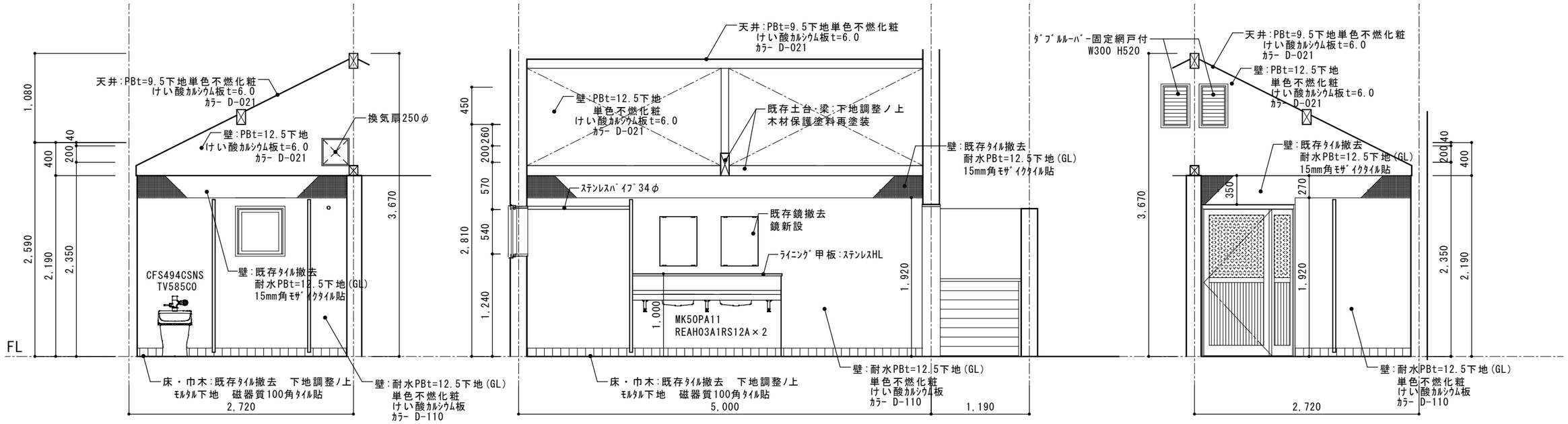
D面

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-17
			図面名称　既存　展開図－２	

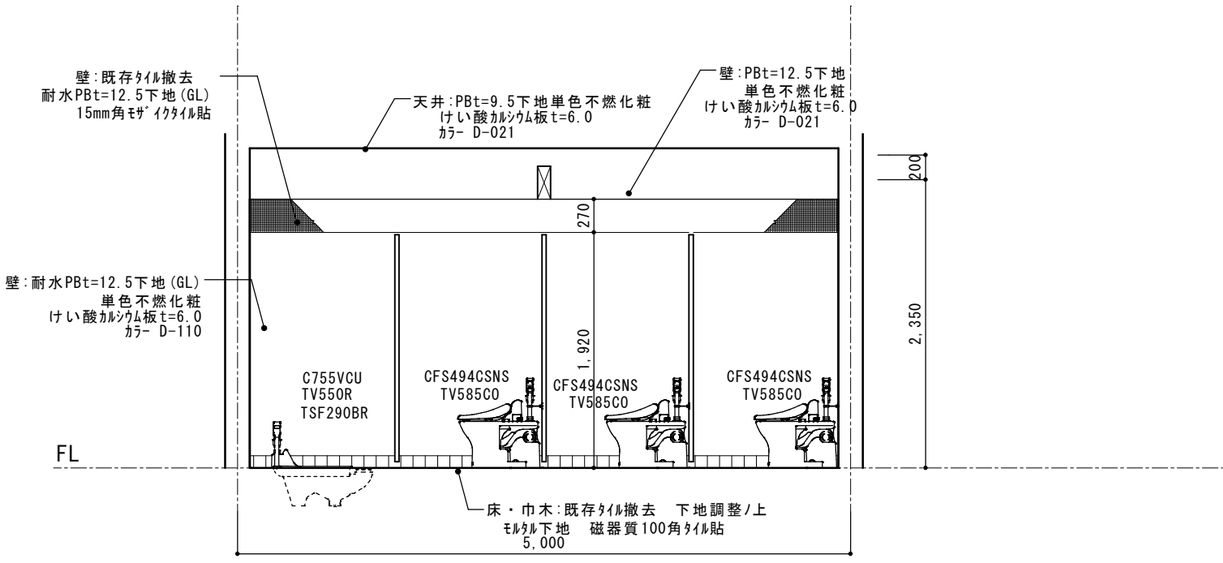


		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事
			図面名称　既存　展開図－３

No. A-18

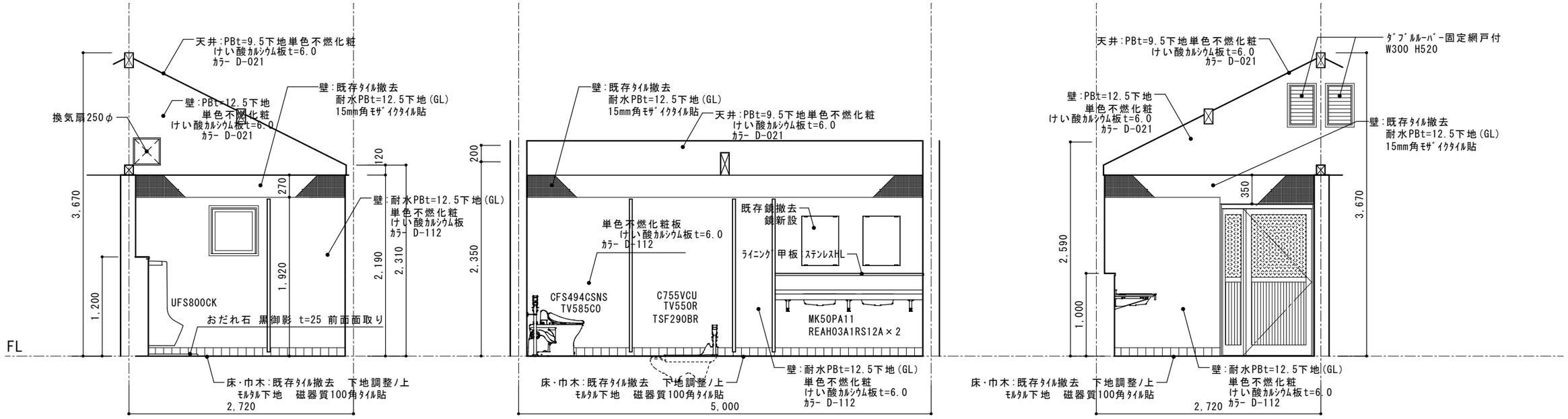


女子ﾄｲﾚ　　A面　　B面　　C面

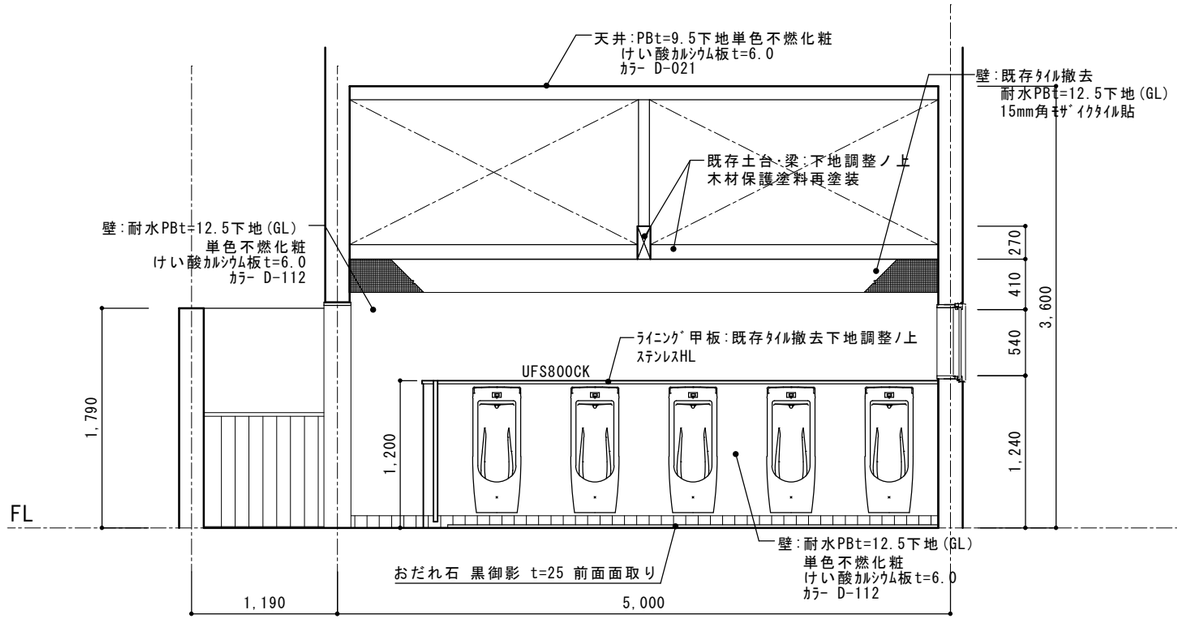


D面

	縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-19
		図面名称　改修　展開図-1	

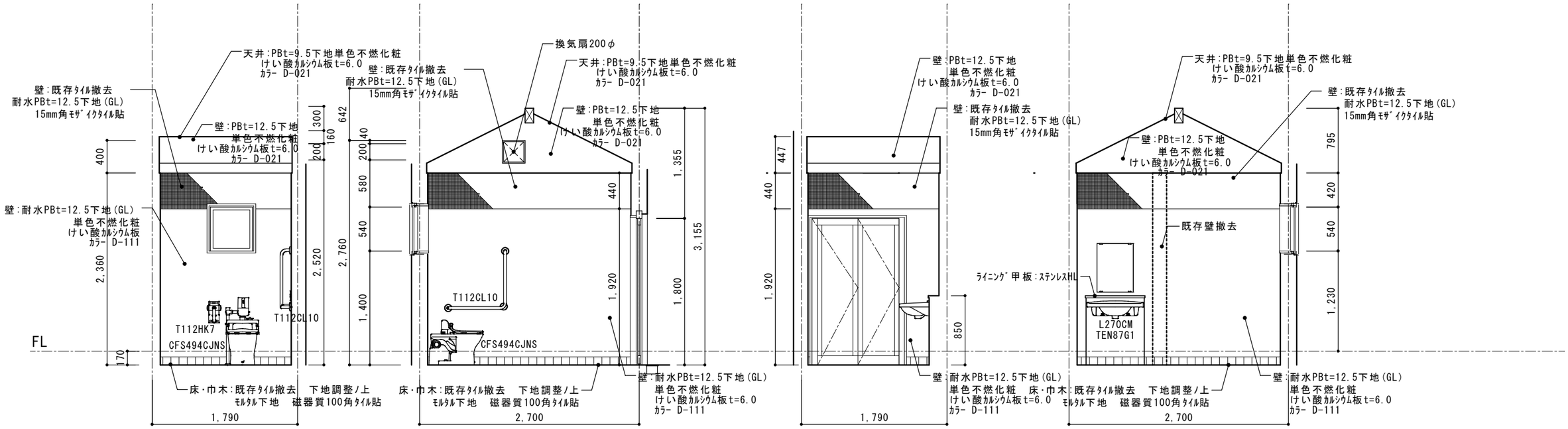


男子ﾄｲﾚ　　A面　　B面　　C面



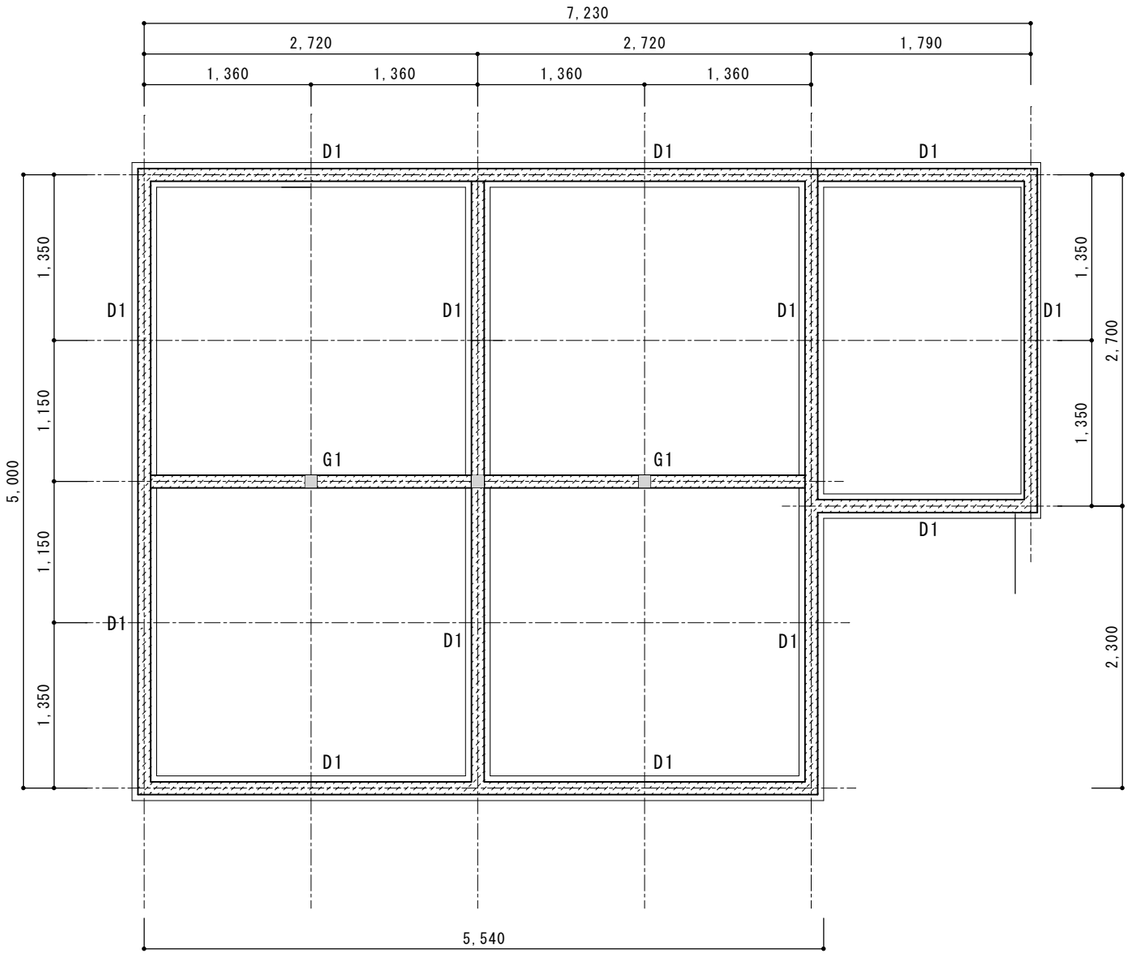
D面

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-20
			図面名称　改修　展開図－２	



多目的ﾄｲﾚ　A面　B面　C面　D面

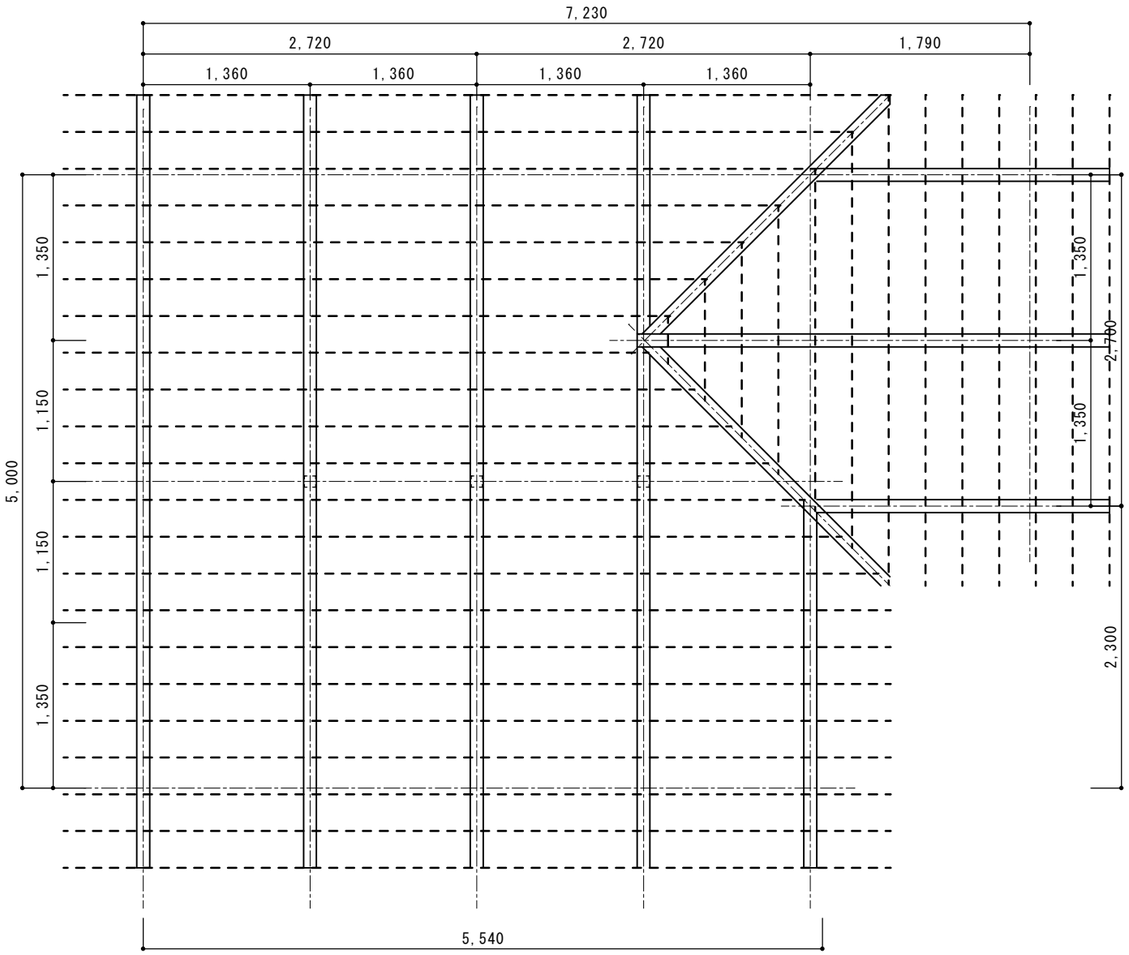
		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-21
			図面名称　改修　展開図－３	



束

既存部材

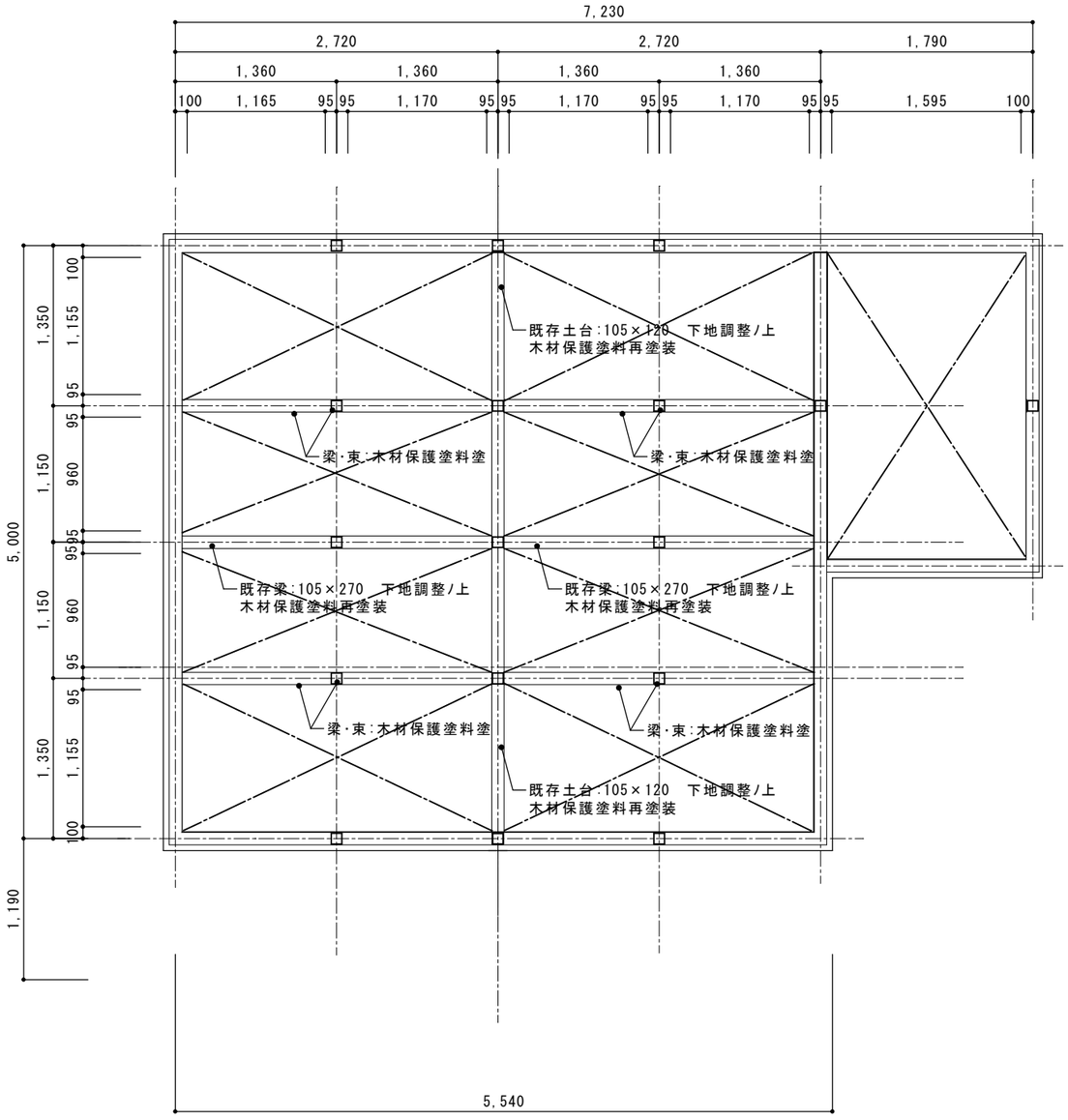
土台伏図　1：50



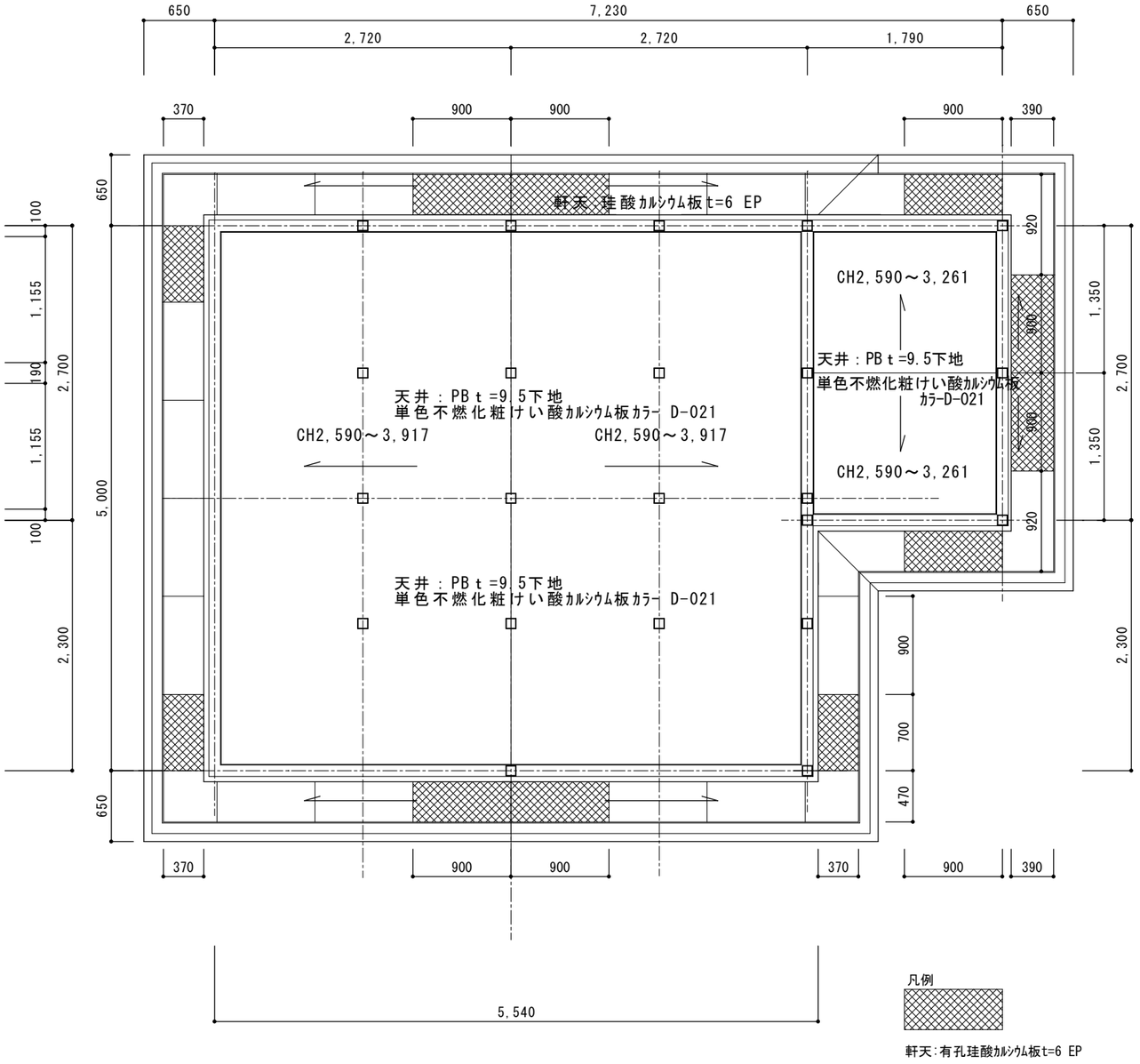
-------- 垂木　@300

小屋伏図　1：50

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-22
			図面名称　木構造図	

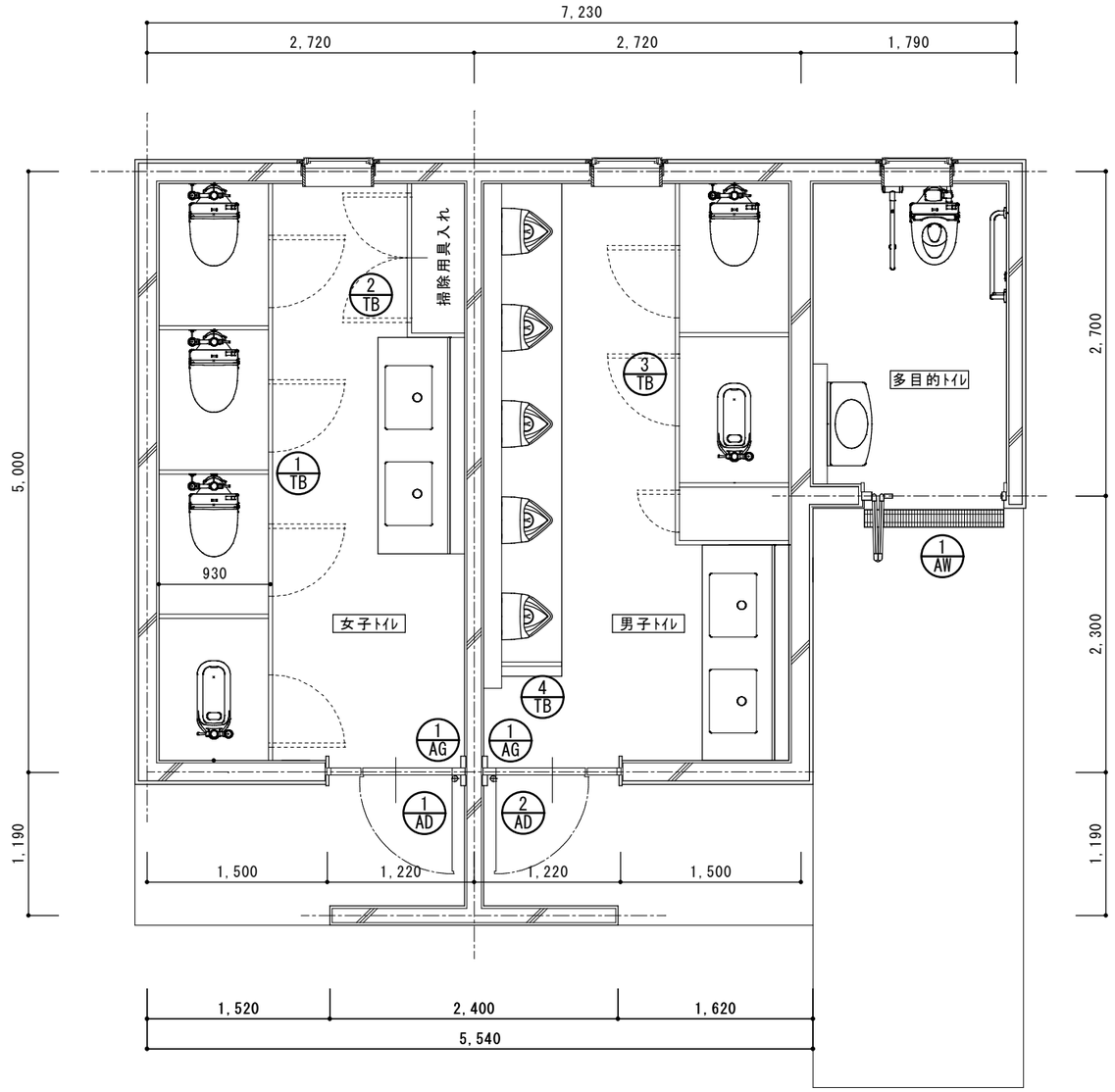


改修小屋平面図　1：50



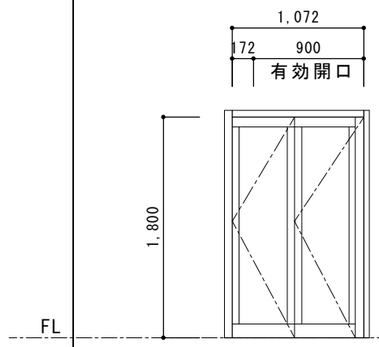
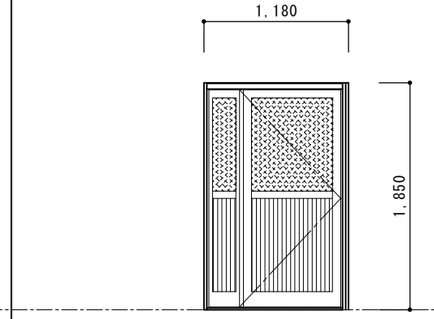
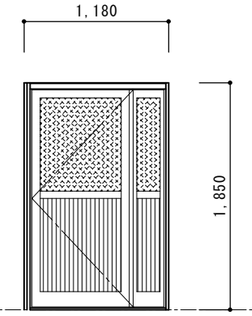
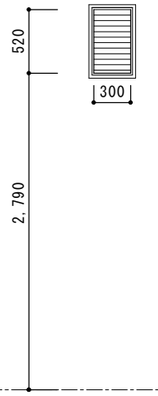
改修天井伏図　1：50

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-23
			図面名称　改修小屋平面図　改修天井伏図	



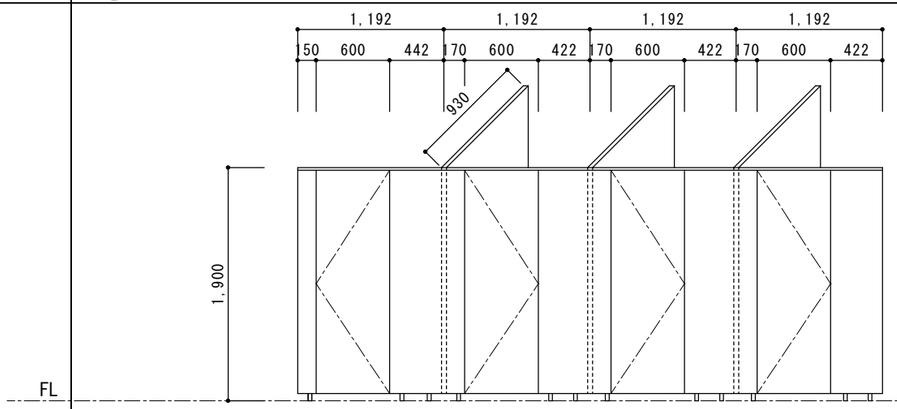
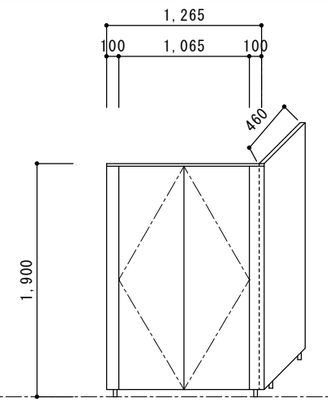
１階建具キープラン　１：50

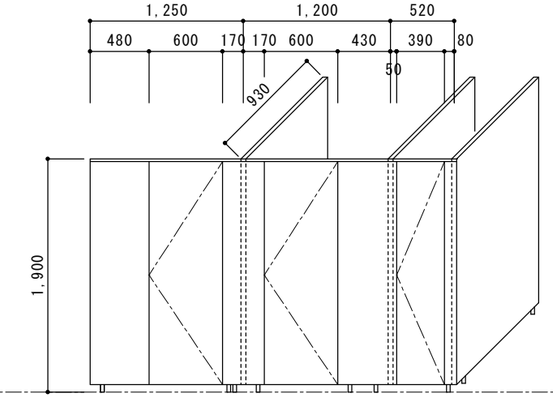
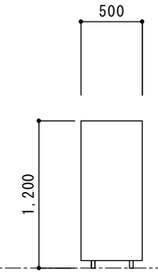
		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事 図面名称　改修建具キープラン	No. A-24

記号・場所	1/AW 1階 多目的ﾄｲﾚ	1/AD 1階 女子ﾄｲﾚ	2/AD 1階 男子ﾄｲﾚ	1/AG 1階 女子ﾄｲﾚ、男子ﾄｲﾚ
姿図				
形式・見込	折れ戸 70	片開きドア	片開きドア	固定ガラリ窓 70
仕上・数量	アルミサッシュ 1	アルミサッシュ 1	アルミサッシュ 1	アルミサッシュ 2
硝子	アルミパネル	上部:網入型硝子・下部:アルミパネル	上部:網入型硝子・下部:アルミパネル	
金物	引手、上部ﾚｰﾙ、下部ﾚｰﾙ他付属金物一式	シリンダー錠・ドアストッパー	シリンダー錠・ドアストッパー	他付属金物一式
備考				

記号・場所				
姿図				
形式・見込				
仕上・数量				
硝子				
金物				
備考				

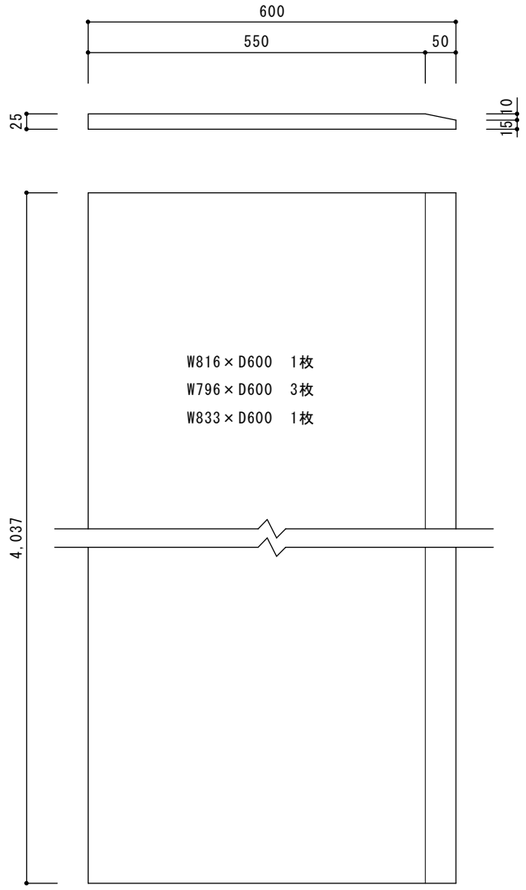
		縮尺 1/50	工事名称 花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-25
			図面名称 改修建具表－１	

記号・場所	1 TB 1階 女子ﾄｲﾚ	2 TB 1階 女子ﾄｲﾚ	
姿図			
形式・見込	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	
仕上・数量	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 1	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 1	
硝子	ー	ー	
金物	頭繋ぎ、束、表示ﾗｯﾁ、ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、帽子掛、その他装置一式	頭繋ぎ、束、ﾗｯﾁ、ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、その他装置一式	
備考			

記号・場所	3 TB 1階 男子ﾄｲﾚ	4 TB 1階 男子ﾄｲﾚ	
姿図			
形式・見込	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 40	
仕上・数量	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 1	ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 1	
硝子	ー	ー	
金物	頭繋ぎ、束、表示ﾗｯﾁ、ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、帽子掛、その他装置一式	頭繋ぎ、束、その他装置一式	
備考			

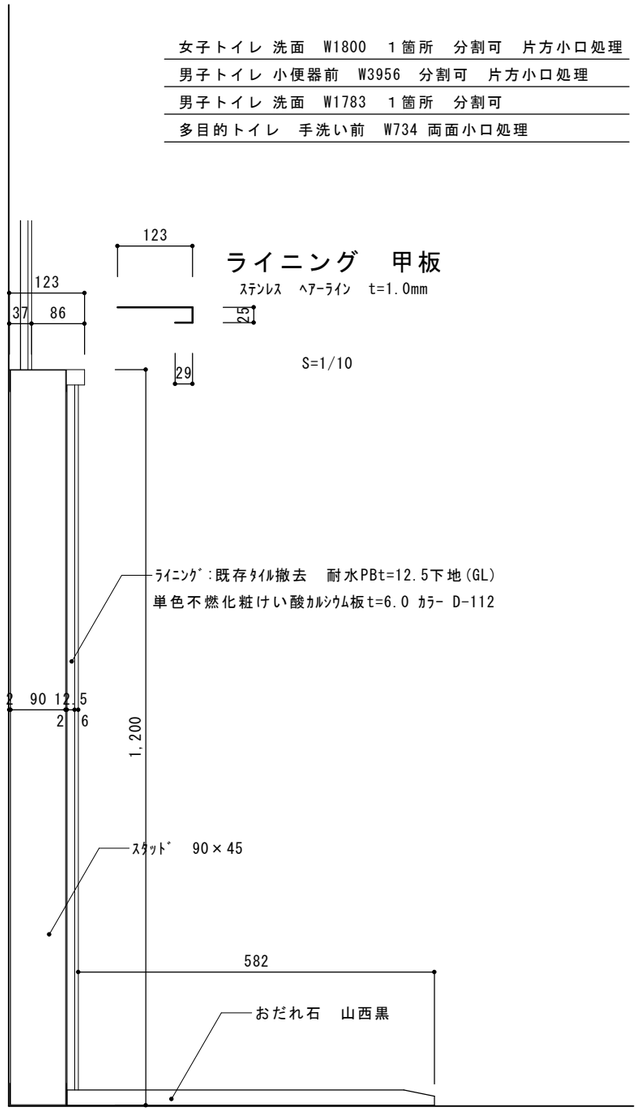
		縮尺 1/50	工事名称 花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-26
			図面名称 改修建具表－２	

女子トイレ 洗面	W1800 1箇所 分割可 片方小口処理
男子トイレ 小便器前	W3956 分割可 片方小口処理
男子トイレ 洗面	W1783 1箇所 分割可
多目的トイレ 手洗い前	W734 両面小口処理



おだれ石 山西黒

S=1/10



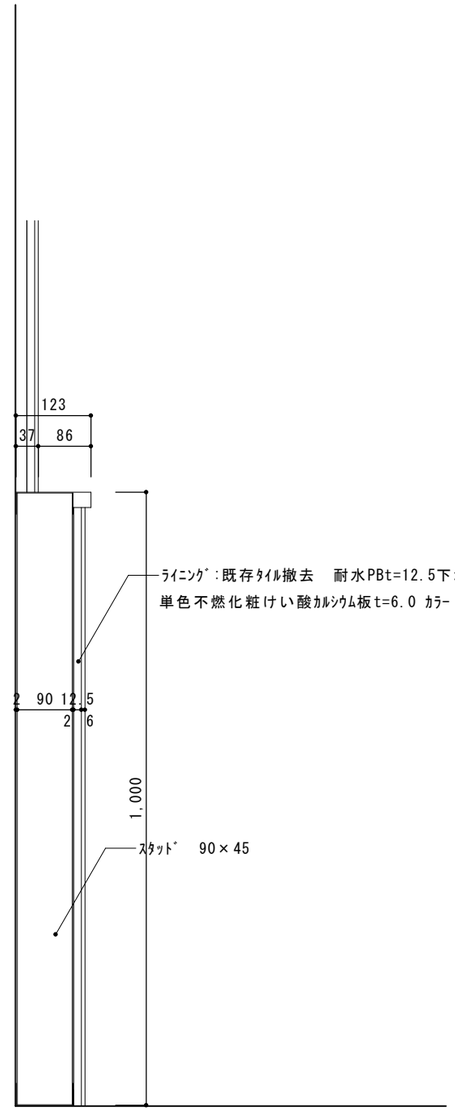
ライニング 甲板

ｽﾃﾝﾚｽ ﾍｱｰﾗｲﾝ t=1.0mm

S=1/10

小便器前
ライニング詳細図

S=1/10



手洗い器前
ライニング詳細図

S=1/10

		縮 尺 1/30	工事名称 花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. A-27
			図面名称 部分詳細図	

電　気　設　備　特　記　仕　様　書

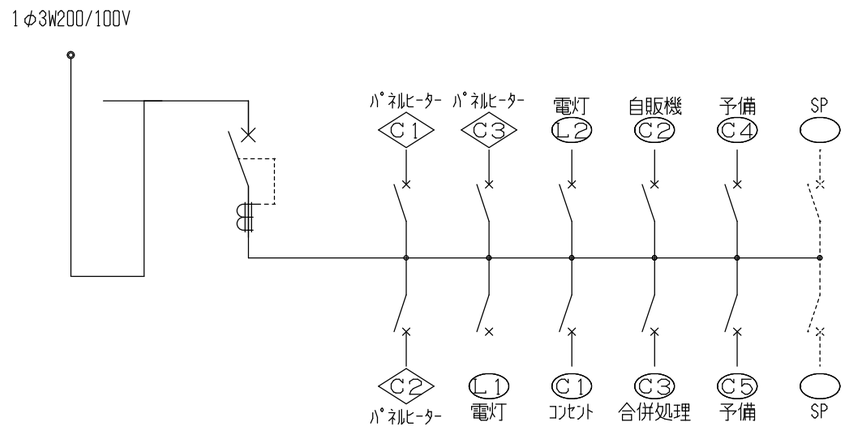
工　事　名　称	花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事
工　事　場　所	山梨県笛吹市御坂町大野寺250
一　般　事　項	本設備工事は当該施設に本図及び別記施工基準に従って電気設備工事の改修一式を施工するもので
	技術的に完全に行うと共に、各申請手続も遅滞なく請負者が代行しこれらに要する費用は全て本設備に含むものとする。
	又、建築基準法、消防法、などの各関連法規の適用を受けるものは全てそれらの関連事項をみたすものとする。
施　工　基　準	1．建設大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書及び標準図（最新版）
	2．電気設備技術基準
	3．電力会社内線規定
	4．関係法規等
工　事　範　囲	別紙設計図及び契約書に示す範囲とする。
提　出　書　類	1．承諾図　2．施工図　3．竣工図　4．工程写真　5．係員の指示によるもの
使　用　材　料	本設備工事に使用する主な機材は既製一級品（又は特注品）で全て指定メーカー製新品とし
	ＪＩＳ、ＪＥＣ、ＪＥＭ、規格品は同規格合格品とする。
特　記　事　項	1．　本設計図は工事の概要を示すものであるから施工者は着工前に充分なる理解の上
	施工図面製作図面を提出し係員の承諾を得るものとする。
	2．工事の進捗状態に応じて疑義が生じた場合及び細部不明の際は速やかに係員と協議の上着工とする。
	3．係員協議のもとに行う軽微な変更については請負金額の増減を行わないものとする。
	4．図面に特別指示なくも設備上、構造上、美観上当然必要と認められるものは請負人負担に於いて良心的に行うものとする。
	5．　寸法明記のないP．BOX又は図示なき箇所に使用するP．BOX類は全て内容積充分なるもので
	一方向以上の点検口を有し露出面は指定色塗装仕上とする。
	6．設計図に各、取付高さ記入あるも参考程度とし施工は建築図面参照の上着工とする。
	7．ケーブルは、エコケーブルを使用とする。
工　事　区　分	建築工事＝
	機械設備工事＝
別　途　工　事	その他設備工事＝

メーカーリスト	機　材　名　称	メ　ー　カ　ー　名	機　材　名　称	メ　ー　カ　ー　名
	配　管　材　料	ＪＩＳ規格品		
	電線・ケーブル	ＪＩＳ規格品		
	照　明　器　具	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ・東芝・三菱		
	配　線　器　具	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ・神保・東芝		
	分電盤・制御盤	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ・日東・内外		

		縮　尺	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事
			図面名称　特　記　仕　様

No. E-01

電灯分電盤:鋼板製・露出形・ﾒｰｶｰ標準品



M)ELCB3P50AF40AT
B)MCCB2P1E20AX7
B)MCCB2P2E20AX3

BQG84102

A	LED6.0W ﾎﾟｰﾁﾗｲﾄ	B	LED8W ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 60形電球相当	C	LEDﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ 150形 ｺﾝﾊﾟｸﾄ形蛍光灯 FHT42形器具相当
LGW85021B		LGB73090.LE1		NNN73081Z.LE9	
				LED<ﾜﾝｺｱ(ひと粒)ﾀｲﾌﾟ>	
				器具光束1040lm、傾斜天井用	
Ra74		昼白色(1個)、高演色Ra92		4000K、Ra85、広角ﾀｲﾌﾟ	
防雨型、ﾂﾏﾐﾈｼﾞ方式、密閉型		器具光束440lm、拡散ﾀｲﾌﾟ、高気密SB		消費電力16.5W、電圧100～242V	
ｶﾊﾞｰ:ｱｸﾘﾙ(乳白)		電圧100V		反射板:ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ(ｼﾙﾊﾞｰﾒﾀﾘｯｸつや消し仕上)	
ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ(ｵﾌﾌﾞﾗｯｸ)		枠:ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ(ﾎﾜｲﾄつや消し)		枠:ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ(ｸｰﾙﾎﾜｲﾄつや消し仕上)	
光源寿命40000時間(光束維持率70%)		埋込穴φ100、埋込高78		ﾊﾟﾈﾙ:ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ(透明つや消し)	
W=215 H=215 出しろ110		光源寿命40000時間(光束維持率70%)		埋込穴φ150、埋込高130	
D	LED6.9W ﾌﾞﾗｹｯﾄ				
LGB81512.LE1					
電球色LED(6個)					
ｶﾊﾞｰ:ｱｸﾘﾙ(透明つや消し)					
ｱﾙﾐﾀﾞｲｶｽﾄ(ﾎﾜｲﾄ)					
ﾐﾃﾞｨｱﾑｵｰｸ調仕上					
壁面取付専用					

姿図は参考とする

※ 凡例･注記

- EM-EEF1.6-2C
- EM-EEF1.6-3C･1芯接地線
- EM-EEF1.6-3C
- EM-EEF1.6-2C×2･1芯接地線
- EM-EEF1.6-2C×2
- EM-EEF1.6-3C＋1.6-2C･1芯接地線
- EM-EEF1.6-3C＋1.6-2C
- EM-EEF1.6-3C×2
- EM-EEF1.6-2C×2＋1.6-3C

- EM-EEF2.0-2C
- EM-EEF2.0-3C･1芯接地線
- EM-EEF2.0-2C×2･1芯接地線
- EM-EEF2.0-3C＋2.0-2C･1芯接地線
- EM-EEF2.0-3C×2･1芯接地線

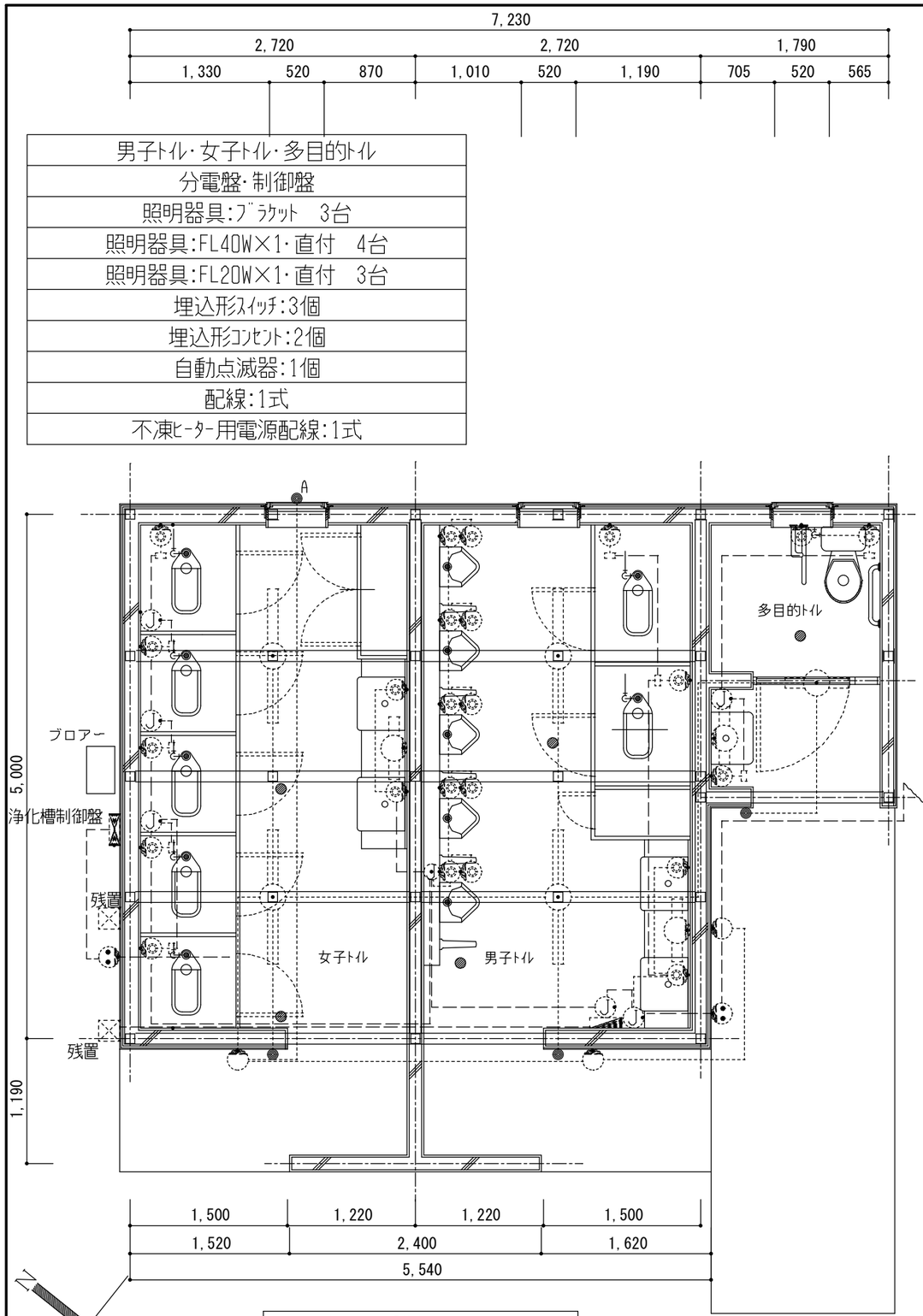
※ 配線器具は、JIS大角形連用とし、ｽｲｯﾁ･ﾈｰﾑ記入形、ﾌﾟﾚｰﾄ･新金属製とする。

※ 凡例･注記

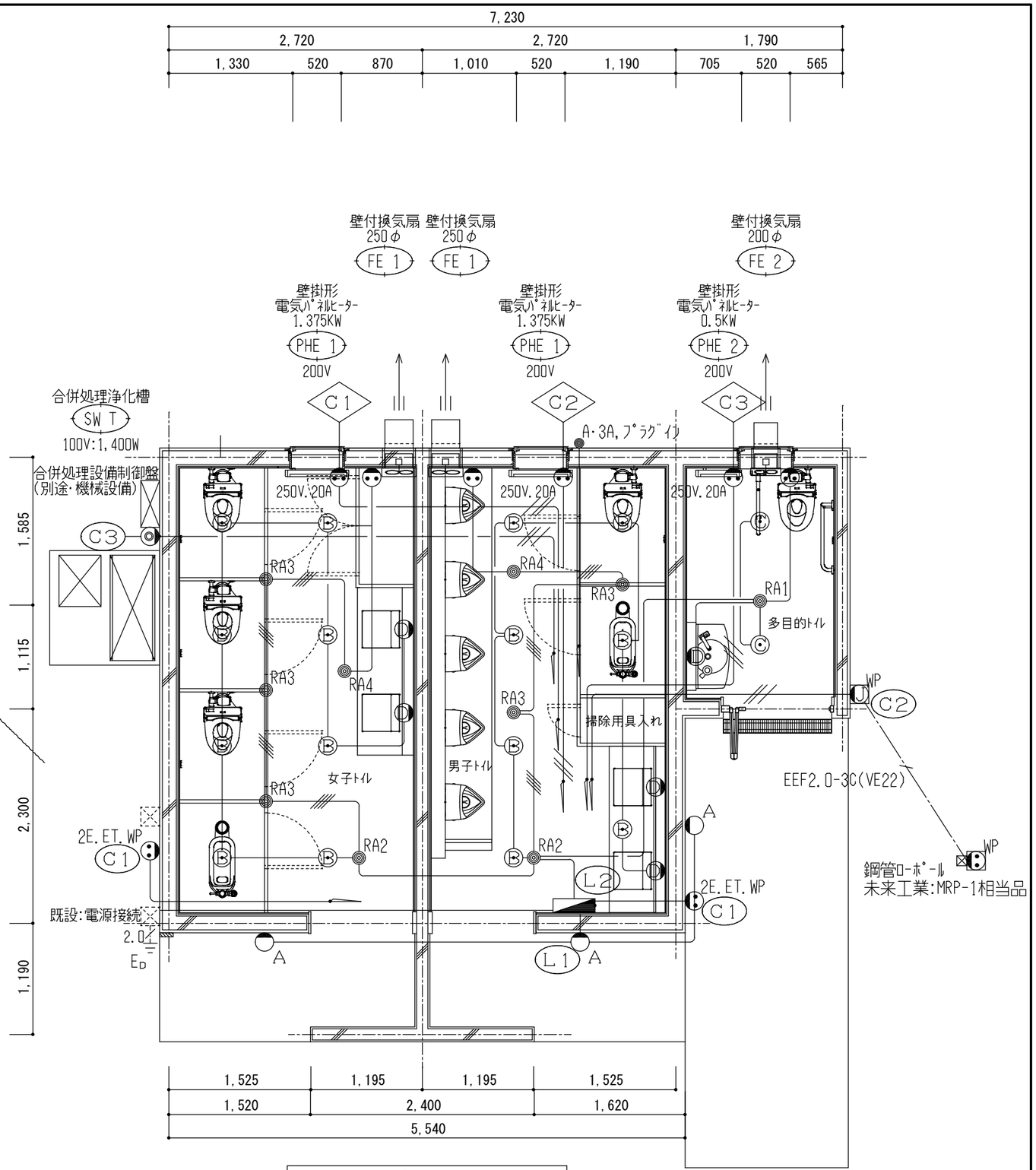
- SL 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ用操作ﾕﾆｯﾄ
- 2SL 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ用操作ﾕﾆｯﾄ(2回路用)
- RA1 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ(白熱灯.蛍光灯用)明るさｾﾝｻ付･換気扇連動用
- RA2 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ･親器･8A･広角検知形
- RA3 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ･子機(広角)
- RA4 熱線ｾﾝｻｰ付自動ｽｲｯﾁ･子機･換気扇接続端子付

		縮尺 1/50	工事名称 花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. E-02
			図面名称 分電盤結線図･照明器具参考姿図	

男子ﾄｲﾚ・女子ﾄｲﾚ・多目的ﾄｲﾚ
分電盤・制御盤
照明器具:ﾌﾞﾗｹｯﾄ　3台
照明器具:FL40W×1・直付　4台
照明器具:FL20W×1・直付　3台
埋込形ｽｲｯﾁ:3個
埋込形ｺﾝｾﾝﾄ:2個
自動点滅器:1個
配線:1式
不凍ﾋｰﾀｰ用電源配線:1式



既存平面詳細図　1：50



改修平面詳細図　1：50

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事 図面名称　電気設備平面図(既設撤去・新設)

No. E-03

特記仕様書

特記仕様書

1　工事名称：花鳥の里スポーツ広場　トイレ改修工事
2　工事場所：山梨県笛吹市御坂町大野寺
3　建物概要：ＲＣ造平屋建て　　床面積 32.0 ㎡
4　工事範囲：設計図書及び工事契約書に示す範囲とする。

一般事項

1　本工事は全て本特記仕様書・設計図書及び関係官庁規則により施工する。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)平成25年版」に準拠し、監督職員の指示に従い技術的に完全に施工すること。

2　本工事に関連する法令・条例及び規則等は良くこれを理解・厳守し、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等は請負者の責任において遅滞なく行い、内容について監督職員に報告する。

3　本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は充分なる理解の上、工事の着工に先立ち各共通仕様書に基き、施工図・工程表・施工計画書等工事関係図書を提出し、監督職員の承認を得ること。

4　図面・本仕様書に疑義が生じた場合及び明記なきことでも技術・管理上当然必要なものは監督職員と協議の上、その指示に従い誠実に施工すること。軽微な変更・追加工事は請負者の責任に於いて行うものとする。

5　本工事請負者は定められた工期内で完全な状態で引渡し出来るよう工事を完成させ、完成時には機器類取扱説明書・保証書・各申請書類・竣工図・工程写真・試験成績書・保守要領書・その他を提出すること。尚、本設備引渡し前に運用者に対して充分な説明･指導を行うこと。

6　本工事請負者は工事完成引渡し後でも、施工方法・器具類等の不良等に起因する事故に対しては責任をもって修復しなければならない。

工事項目及び概要

1　衛生器具 設備工事：器具表のものを図示位置に堅固且つ美麗に取付けるものとする。
　　取付高さはJIS･器具メーカーの仕様を参考とし、打合せの上決定すること。
2　給　　水 設備工事：水道直結方式とし、既存給水管に接続とする。(既設量水器50㎜)
3　排　　水 設備工事：汚水・雑排水合流式とし、新設浄化槽に接続とする。
4　浄 化 槽 設備工事：既存浄化槽(単独処理)を撤去して合併処理浄化槽を新たに設置する。
5　電気暖房 設備工事：凍結防止目的として、電気暖房器を設置する。
6　換　　気 設備工事：男女トイレ・多目的トイレに壁付換気扇を新たに取付け、第三種換気を行うものとする。

提出書類

1　着 工 時：ﾒｰｶｰﾘｽﾄ、現場代理人及び主任技術者通知書･経歴書、施工図、機器類承認図、工事工程表、施工計画書、その他、
2　工 事 中：月間工程表(必要に応じ週間工程表)、工事日報、資機材搬入報告書、定例会議議決報告書、その他、
3　竣 工 時：機器類保証書･取扱説明書、竣工図、工事写真(着工前･施工中･竣工時)、その他監督職員の指示による。

メーカー指定

衛生器具	：ＴＯＴＯ㈱	㈱ＬＩＸＩＬ	
弁　　類	：㈱キッツ	東洋バルブ㈱	㈱武村製作所
排水器材	：㈱長谷川鋳工所	㈱ｵｵﾀｹﾌｧﾝﾄﾞﾘｰ	第一機材㈱
塩ビ桝類	：アロン化成㈱	タキロン㈱	前澤化成㈱
浄化槽	：大栄産業㈱	フジクリーン工業㈱	アムズ㈱
電気暖房器	：㈱ｲﾝﾀｰｾﾝﾄﾗﾙ	日本シーズ線㈱	
換気扇類	：三菱電機㈱	パナソニック㈱	
管材類	：JWWA・JIS・WSP規格メーカー		

※　上記又は同等品以上とし、メーカーリスト及び機器承認図を提出の上、監督員の承認を得ること。

特記事項

- 使用する管材及び保温材は凡例の項参照とし、全て新品とする。
- 機器類はメーカー標準仕様品とし、全て新品とする。
- 保温・塗装工事は下記保温仕様を参考とし、詳細は共通仕様書参照とする。
- 本工事に支障のある既存配管等の切廻し・盛替工事は図示なくも協議の上、支障無きように行うこと。
- 給水工事は管轄水道事業管理所の規定に準拠して施工すること。
- 給水管の屋外埋設深さは、管上端GL-500以上とする。
- 給水等に使用する器具・バルブ類は鉛レス対策品とする。
- 水抜栓はＭＴ型とし、排水ブロック(150型)を設置すること。
- 屋外埋設給水管の分岐・曲り部及び監督職員の指示する場所には地中埋設標を設置すること。
- 主要な弁類には、使用用途を記したプラスチックの用途札を取付ける。
- 土間下埋設配管は沈下防止の為、それぞれの管種に応じ天井配管と同ピッチで土間配筋より吊ること。
- 衛生陶器類のカラーは打ち合わせの上、決定すること。
- 排水管の勾配は屋内外共1/50を原則とすること。
- 排水床上掃除口はSUS製VP用化粧つば付き形とする。
- 各配管は耐圧試験を行うものとし、詳細は共通仕様書による。
- 屋外に使用する支持鋼材・ボルト・ナット類及びフランジは、亜鉛メッキのものとする。
- 機器類・露出配管には記号・名称等を記入すること。
- 機器類の据付配管工事及び二次側電気工事はメーカー技術資料及び関連法規に基ずき、完全に施工すること。

工事区分

1　建築工事：既存土間・ライニング解体工事、及び衛生器具及び付属配管類の撤去工事、
　　新設ライニング工事(洗面器・小便器用)、多目的トイレ出入口排水溝、換気ガラリ工事、
2　電気工事：一次側供給(衛生器具、電気暖房器、換気扇)、換気扇スイッチ、
3　機械工事：既存給排水管・排水桝の撤去及び廃棄処分、
4　別途工事：各種負担金、

凡例及び管材

記号	種別	種別	規格	区分	保温	備考
―― - HI	給水管	耐衝撃性硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	JIS K6742(HIVP)	屋外埋設		
―― - VD	給水管	内外面硬質塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K116(VD)	屋内埋設	架橋ﾎﾟﾘ10㎜(管防護)	管端防食継手
―― - VB	給水管	内面硬質塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K116(VB)	屋内一般	架橋ﾎﾟﾘ10㎜	管端防食継手
―― V	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K6741(VP)			
- - - - - V	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K6741(VP)			
⊣○⊢	汚水桝	塩ビ製小口径ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝	JSWAS K-7			仕様…図示

図面リスト

番号	図面名称	原図	縮尺	番号	図面名称	原図	縮尺
M 01	特記仕様書	A3		M 07	浄化槽　構造参考図	A3	Free
M 02	器具表　機器表	A3		M 08	浄化槽　施工参考図	A3	Free
M 03	配置図	A3	1/1000	M 09	浄化槽　制御盤参考図	A3	Free
M 04	既存平面図	A3	1/50	M 10	浄化槽　配線・配管参考図	A3	Free
M 05	改修平面図　衛生設備	A3	1/50				
M 06	改修平面図　暖房、換気設備		1/50				

縮　尺

工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事

図面名称　特記仕様書

No. M-01

衛生器具表

器具名称	ＪＩＳ記号	仕　様	参考品番（ＴＯＴＯ）	電源・容量	設置場所　数量						数量合計	備　考
					男子トイレ	女子トイレ	多目的トイレ	屋外				
洋風腰掛便器	C710R	パブリック用コンパクト形掃除口付防露便器　手動フラッシュバルブ(床給水) 普通便座　便座当り止め　パイプホルダー　床フランジ	CFS494CSNS(CS494J+TV585CP) TC291　TS153S　T56PH*2　HP430-7		1	3					4	
洋風腰掛便器	C710R	パブリック用コンパクト形掃除口付防露便器　自動フラッシュバルブ(発電・無線タイプ　床給水) センサースイッチ　普通便座　パイプホルダー　床フランジ	CFS494CENS(CS494J+TEV30MWHCR) TES46M　TC291J　T56PH*2　HP430-7				1				1	
和風大便器		掃除口付　リム下全アスファルト巻　手動フラッシュバルブ(床上給水)　スパッド	C755VCU　TV550R　TSF290BR　T82CR32		1	1					2	
壁掛小便器		低リップタイプ　壁給排水　自動感知フラッシュバルブ(乾電池)	UFS800CK		5						5	
紙巻器		樹脂製　棚付二連　350W*110D*102H	YH60N		2	4	1				7	
腰掛便器用手すり 腰掛便器用手すり 和風便器用手すり 小便器用手すり		樹脂被覆タイプ　Ｌ型　34φ*700W*700H*90D 樹脂被覆タイプ　跳ね上げ型　34φ*700L*160H 樹脂被覆タイプ　34φ*500W*600H 樹脂被覆タイプ　34φ*600W*550D*480H	T112CL9(11)　T110D11*3　T110D42*3 T112HK7(22)　T110D49*1　T110D51*1 T112CW1(16)　T110D3R*2 T112CU2(17)　T110D12*2　T110D42*4		1 1 1	3 1 	1 1 				5 1 2 1	
洗面カウンター 洗面カウンター		人工大理石　ボール一体タイプ　洗面器ボール*2　自動単水栓　1,783W*500D　1方エプロン 人工大理石　ボール一体タイプ　洗面器ボール*2　自動単水栓　1,800W*500D　2方エプロン	MK50　M9P40A*3ヶ　TEN40AW　T7W41 MK50　M9P40A*3ヶ　TEN40AW　T7W41		1 	 1	 				1 1	
大形洗面器	L410	カウンター一体形　自動単水栓(発電)　壁給排水	L270DM　TS126AR　TEN40AW　T6BMP　TL220D				1				1	
一般化粧鏡 一般化粧鏡		洗面器用　450*600H 洗面器用　450*1,000H	YM4560A YM4510FA		2 	2 	 1				4 1	

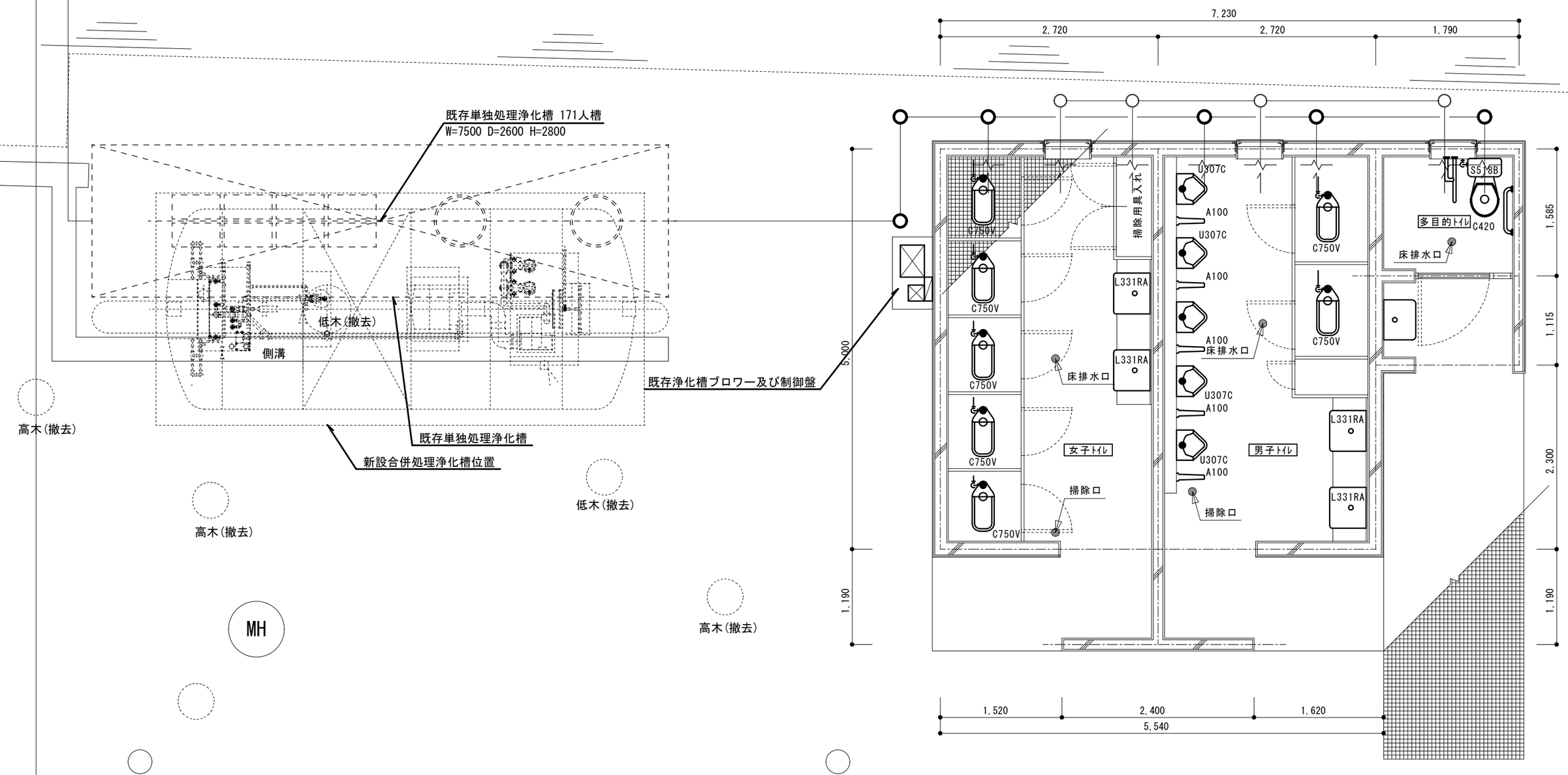
機器表

記号	機器名称	仕様　取付品	電気容量	設置場所	台数	参考型番
SW T	合併処理浄化槽	建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項に適合するもの　個液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式 FRPユニット　51人槽　日平均汚水量:10.2m³/日　流入BOD:260mg/L　放流BOD:20mg/L以下　詳細は参考図参照	単相100V1,400W	屋外	1	FCW51A3(大栄)
PHE 1	電気暖房器	壁掛パネル形　輻射自然対流式　暖房能力:1.375KW*AC200V　寸法:680W*500H*70D　SUS製　サーモスイッチ付　いたずら防止カバー・保護ガード取付	単相200V*1.375KW	男子、女子トイレ	2	NYS-1375
PHE 2	電気暖房器	壁掛パネル形　輻射自然対流式　暖房能力:0.500KW*AC200V　寸法:490W*500H*70D　SUS製　サーモスイッチ付　いたずら防止カバー・保護ガード取付	単相200V*0.500KW	多目的トイレ	1	NXS-500
FE 1	壁付有圧換気扇 排気用	電動式格子タイプ　250φ*600m³/h*30Pa　外壁ウェザーカバー:SUS製25cm用(防鳥網付)　木枠　スイッチ:電気工事	単相100V*35.0W	男子、女子トイレ	2	EFG-25KSB PS-25CS　PS-25KW
FE 2	壁付有圧換気扇 排気用	電動式格子タイプ　200φ*300m³/h*20Pa　外壁ウェザーカバー:SUS製20cm用(防鳥網付)　木枠　スイッチ:電気工事	単相100V*17.0W	多目的トイレ	1	EFG-20KSB PS-20CS　PS-20KW

		縮　尺	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No.
			図面名称　器具表　機器表	M-02

配置図

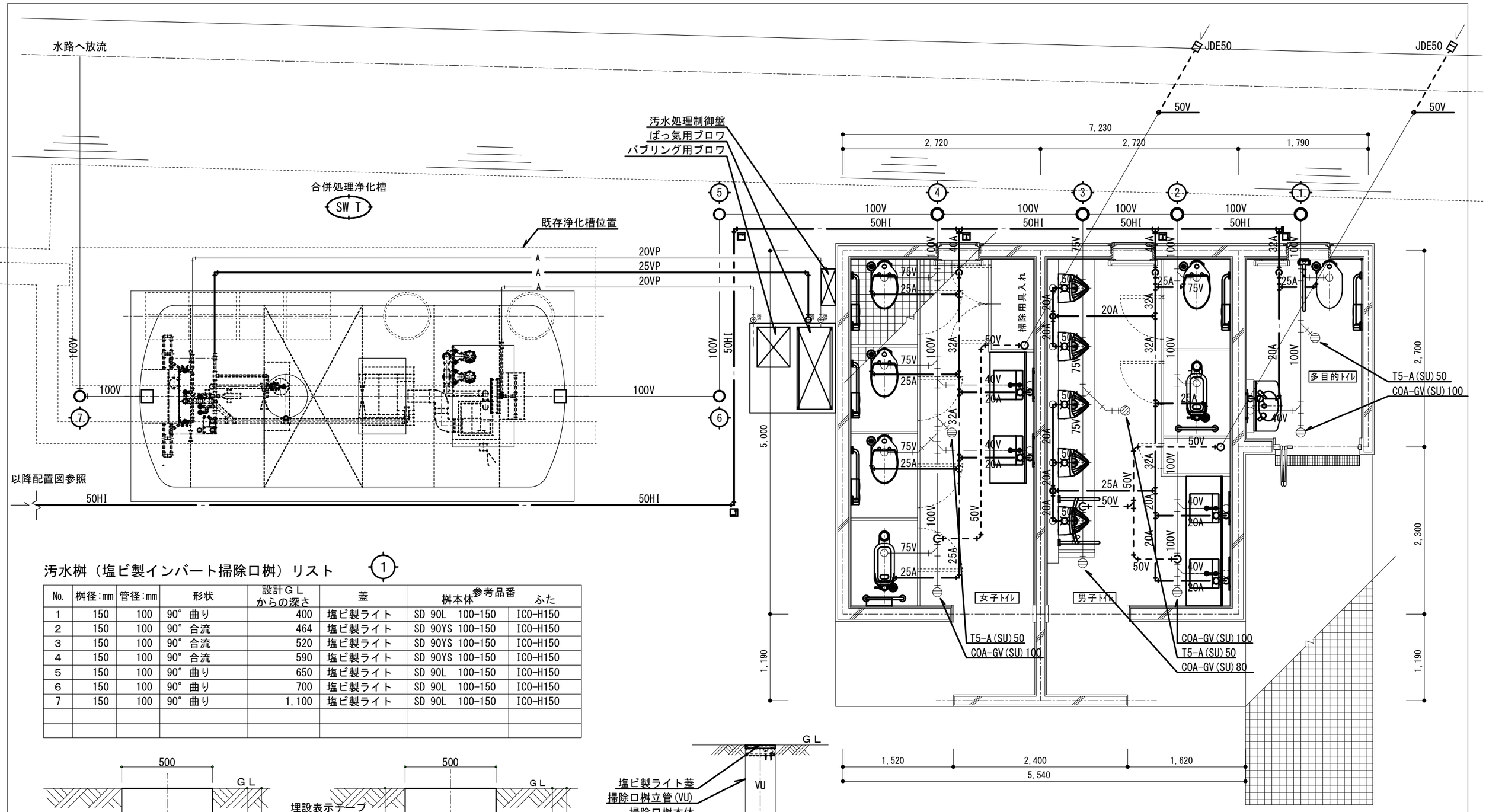
		縮　尺 1/1000	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. M-03
			図面名称　設備配置図	



注記
1. 既存トイレのＦＬ以上の衛生器具・付属配管の撤去は全て建築工事とする。
2. 屋外及び屋内ＦＬ以下の埋設給排水管の撤去は図示なくも全て機械設備工事とする。
3. 既存単独浄化槽の撤去及び合併浄化槽の新設工事に伴い、支障のある既存樹木及び側溝の撤去も含むものとする。
4. 既存単独浄化槽 171人槽　W=7500 D=2600 H=2800

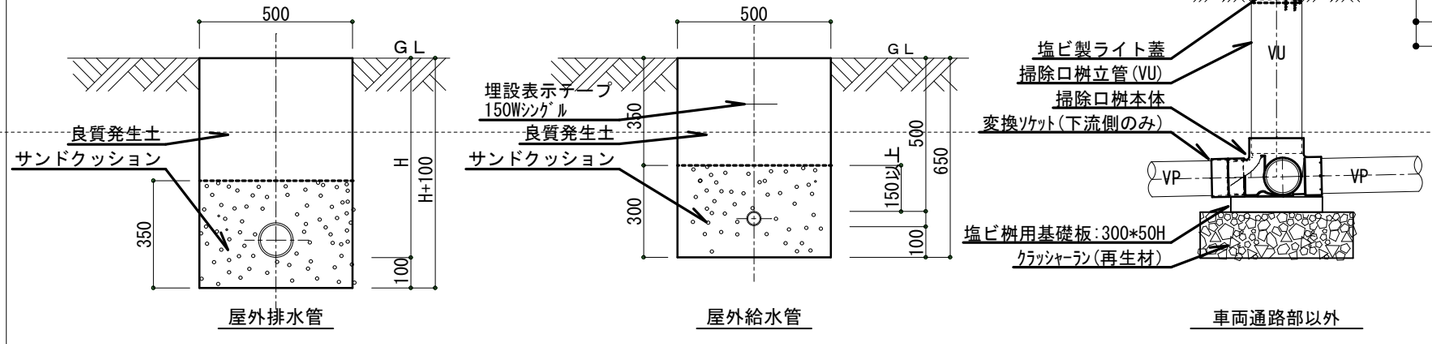
既存平面図　S=1：50

		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. M-04
			図面名称　既存平面図	



汚水桝（塩ビ製インバート掃除口桝）リスト　①

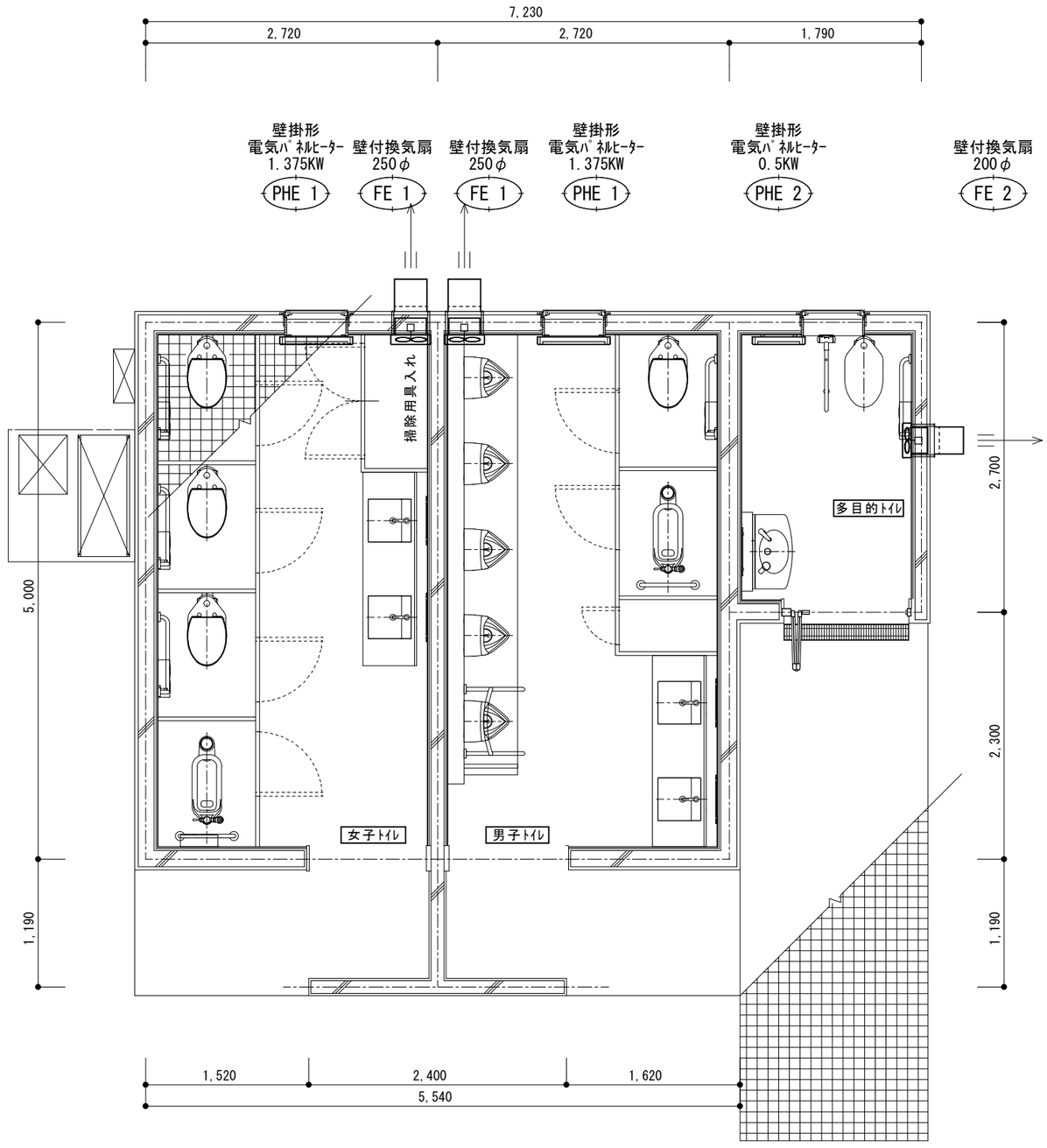
No.	桝径:mm	管径:mm	形状	設計GL からの深さ	蓋	参考品番 桝本体	ふた
1	150	100	90° 曲り	400	塩ビ製ライト	SD 90L 100-150	ICO-H150
2	150	100	90° 合流	464	塩ビ製ライト	SD 90YS 100-150	ICO-H150
3	150	100	90° 合流	520	塩ビ製ライト	SD 90YS 100-150	ICO-H150
4	150	100	90° 合流	590	塩ビ製ライト	SD 90YS 100-150	ICO-H150
5	150	100	90° 曲り	650	塩ビ製ライト	SD 90L 100-150	ICO-H150
6	150	100	90° 曲り	700	塩ビ製ライト	SD 90L 100-150	ICO-H150
7	150	100	90° 曲り	1,100	塩ビ製ライト	SD 90L 100-150	ICO-H150



改修平面図　S=1：50

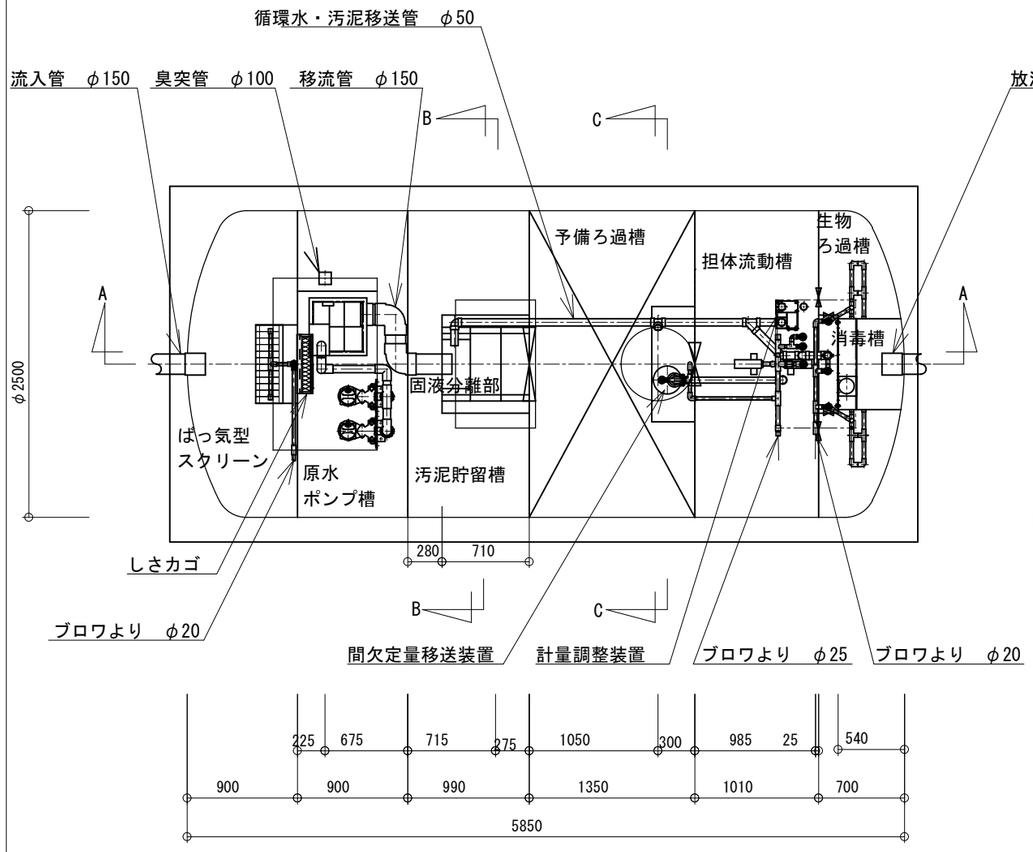
注記
1. 埋設配管の地中梁貫通位置は既存穴を利用すること。
2. 新設埋設配管工事に伴い、支障のある既存配管は図示なくも撤去すること。(屋内外共)

		縮尺	工事名称	花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No.
		1/50	図面名称	改修平面図　衛生設備	M-05

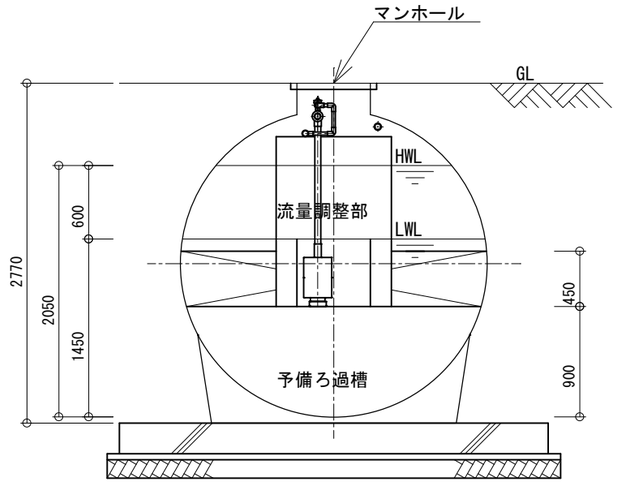


改修平面図　S=1：50

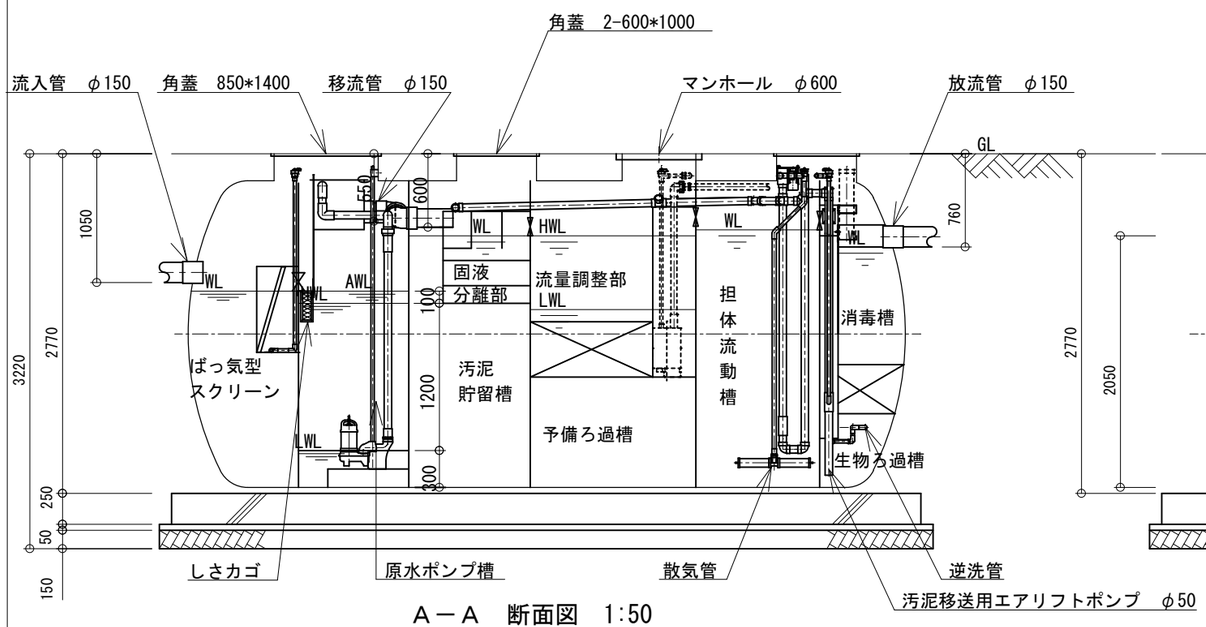
		縮　尺 1/50	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. M-06
			図面名称　改修平面図　暖房・換気設備	



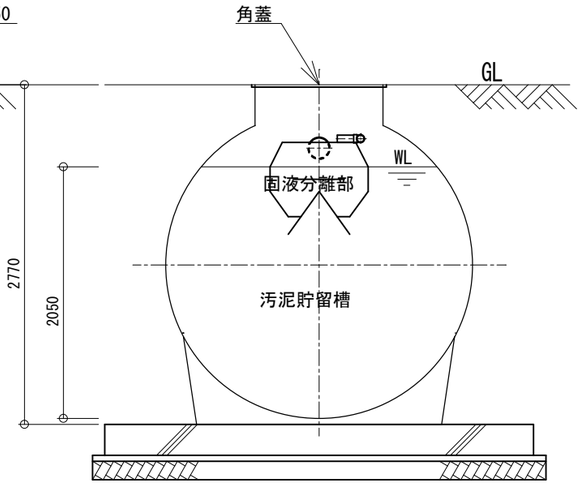
平面図　1:50



C－C　断面図　1:50



Ａ－Ａ　断面図　1:50



Ｂ－Ｂ　断面図　1:50

建築基準法第６８条の２６第１項の規定に基づき、同法施行令第３５条第１項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過循環方式		
型式適合認定	認定番号	型 01Caf0a1024123
	認定年月日	平成２３年３月１８日
型式認定	認定番号	5-11-H-006(10K)-8
	認定年月日	平成２３年６月８日
型　　式		ダイエー浄化槽　FCW51A3型
処理対象人員		51人
日平均汚水量		10.2m³/日
流入ＢＯＤ		260mg/L
放流ＢＯＤ		20mg/L

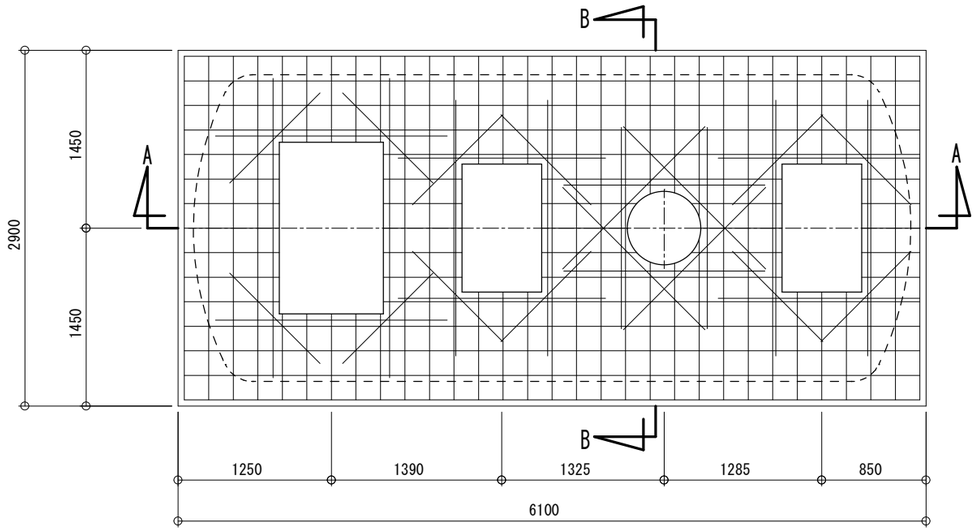
容　量　表	
＜項　　目＞	設計容量/m³
ばっ気型スクリーン	2.417
原水ポンプ槽	2.467
原水ポンプ槽総容量	4.884
＜項　　目＞	設計容量 /m³
汚泥貯留槽	4.264
（固液分離部）	(0.187)
予備ろ過槽	5.815
（流量調整部）	(1.830)
担体流動槽	4.445
生物ろ過槽	2.054
消　毒　槽	0.219
浄化槽総容量	16.797

機器仕様表　（単相100V）				
機器名	口　径	出　力	吐出量	台　数
ばっ気用ブロワ	25A	0.75KW	0.4m³/min	１台
バブリング用ブロワ	15A	0.15KW	0.12m³/min	１台
原水ポンプ	50A	0.25KW	0.14m³/min	２台

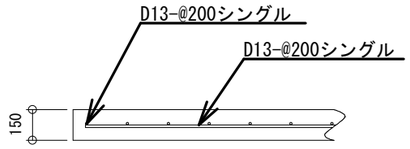
※管理用水栓は10m以内に設置すること（浄化槽工事範囲外）

※マンホール・角蓋は亜鉛メッキ仕様

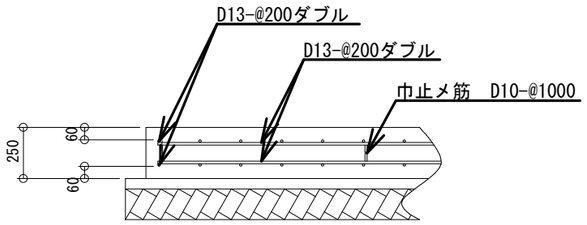
		縮　　尺	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. M-07
			図面名称　浄化槽　構造参考図	



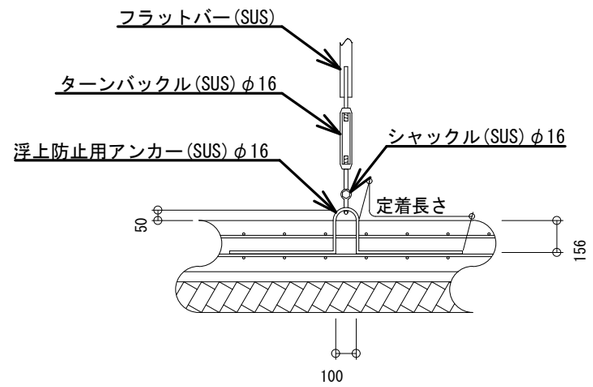
床伏図　1:50



スラブ詳細図　1:30

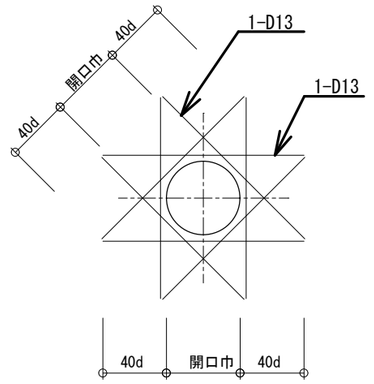


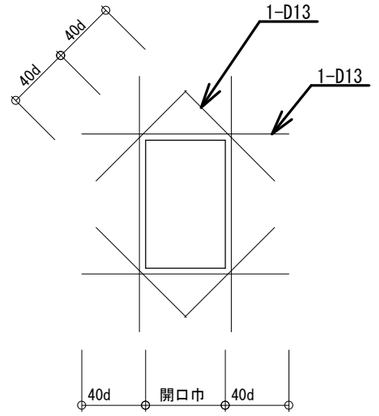
ベース詳細図　1:30



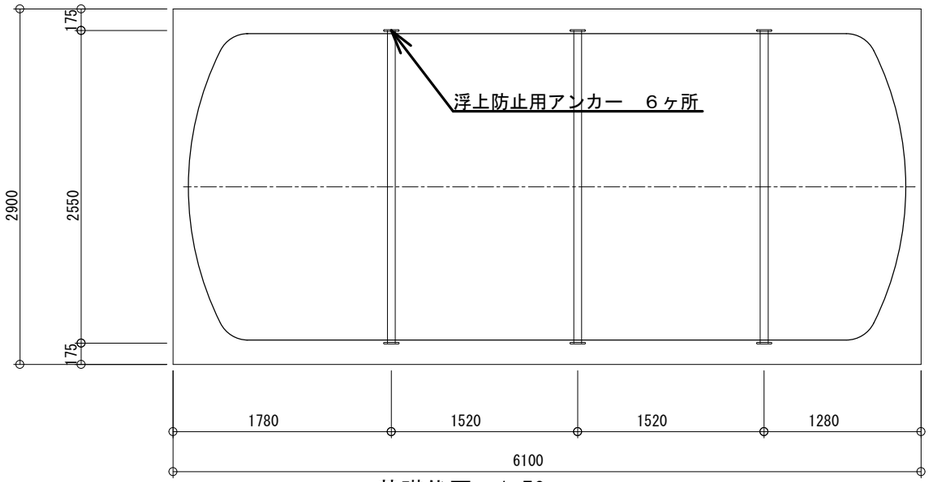
浮上防止用フラットバー詳細図　1:30

※ターンバックルは片側のみとする

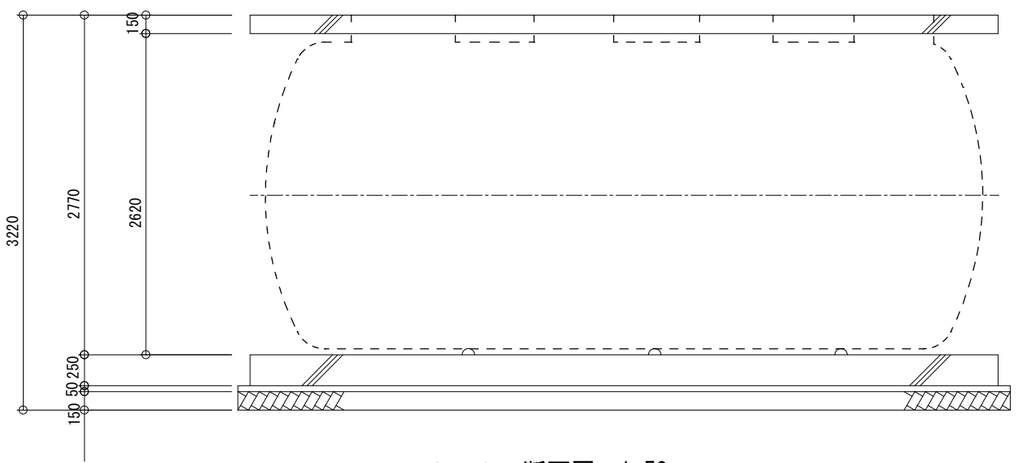




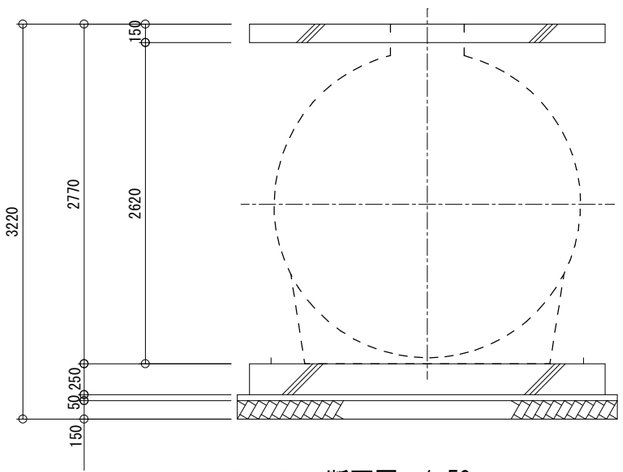
開口補強筋詳細図



基礎伏図　1:50



Ａ－Ａ　断面図　1:50

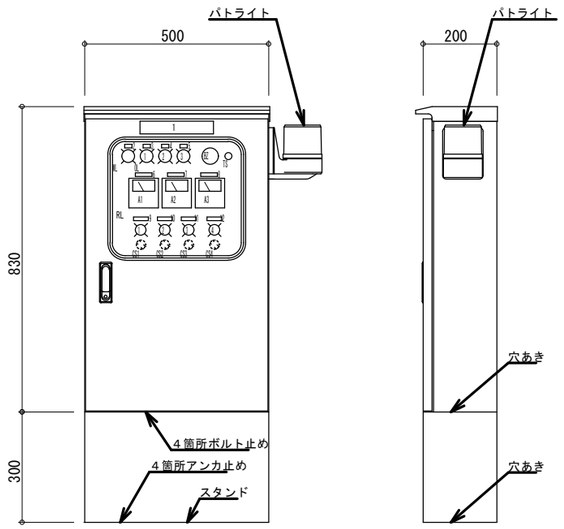


Ｂ－Ｂ　断面図　1:50

一　般　事　項	
コンクリート	設計基準強度　FC=21N/mm²
鉄　筋	異形棒鋼　SD295A
定着及継手	40d d:鉄筋径

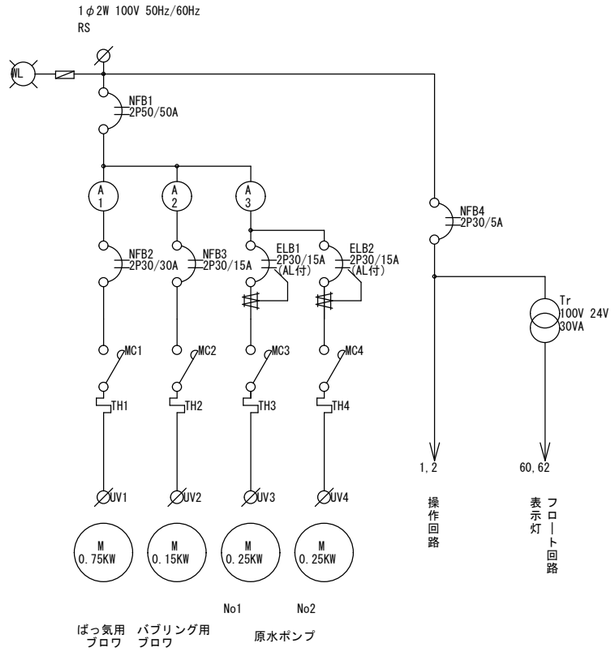
※アンカーは土木工事に含む（材工共）

		縮　尺	工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事	No. M-08
			図面名称　浄化槽　施工参考図	



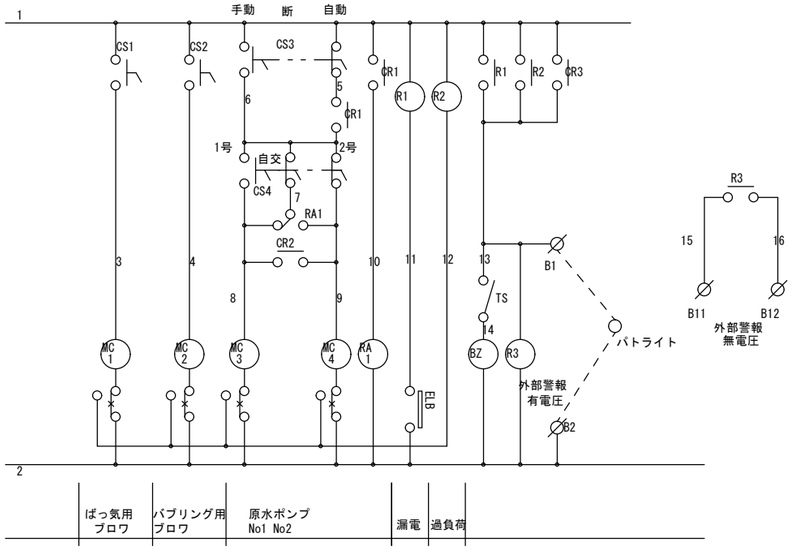
1	汚水処理制御盤
2	電源
3	漏電
4	過負荷
5	原水ポンプ槽　満水
6	ばっ気用ブロワ
7	バブリング用ブロワ
8	原水ポンプNo1,2
9	ばっ気用ブロワ
10	バブリング用ブロワ
11	原水ポンプNo1
12	原水ポンプNo2

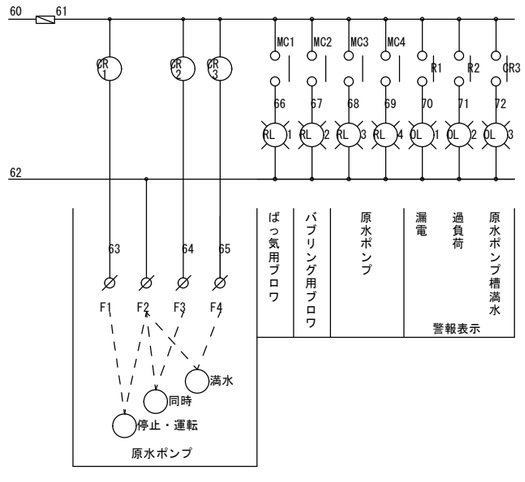
板厚:扉1.6t
本体:1.6t
色　:5Y7/1



制御盤内端子台

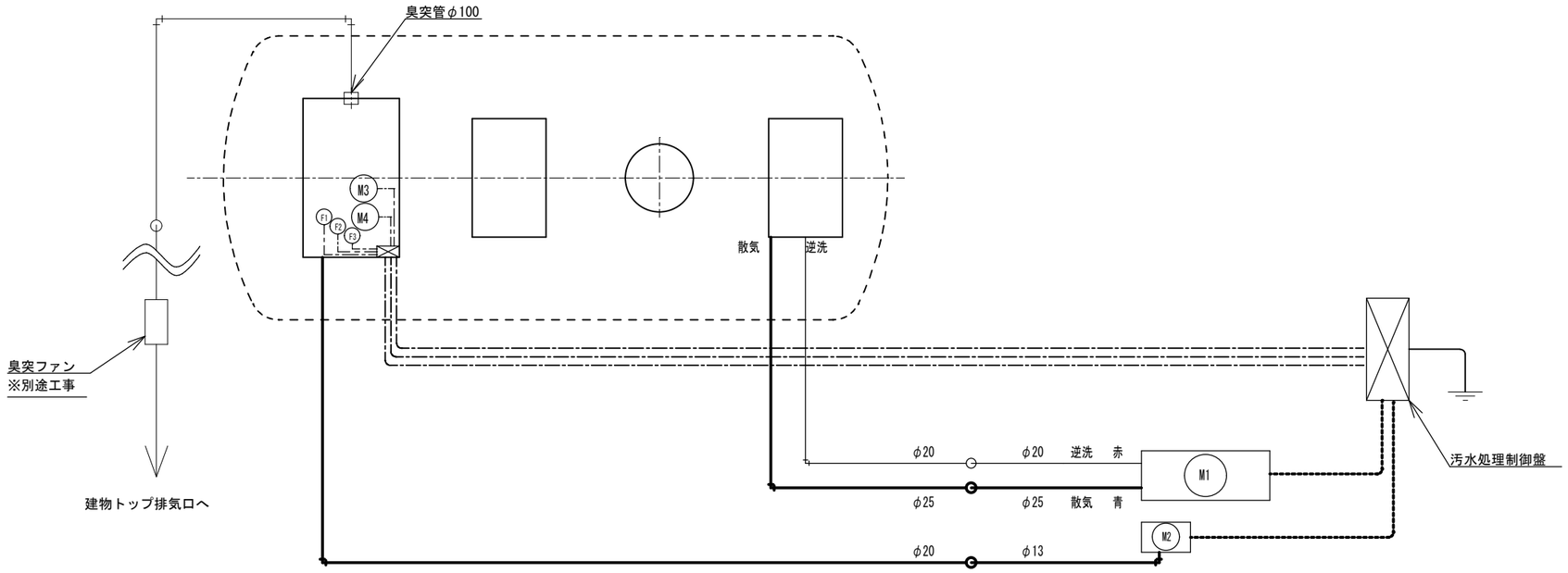
R	S	E	U1	V1	E	U2	V2	E	U3	V3	U4	V4	E	B1	B2	B11	B12	F1	F2	F3	F4
主電源			ばっ気用ブロワ			バブリング用ブロワ			No1 原水ポンプ		No2 原水ポンプ			外部警報有電圧		外部警報無電圧		一般フロート	原水ポンプ		



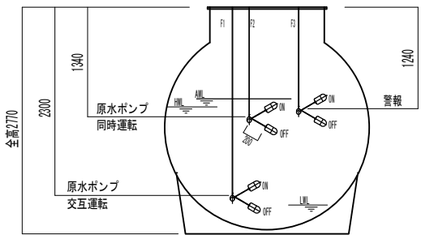


		縮　尺	工事名称	花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事
			図面名称	浄化槽　制御盤参考図

No.
M-09



エア配管及び動力配線図



原水ポンプ槽(フロート:RF-5)

フロート位置参考図

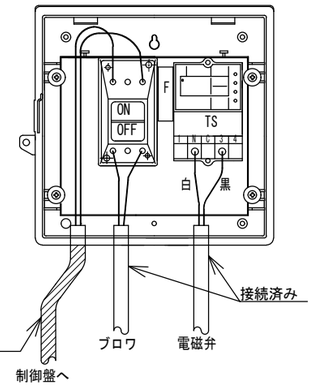
機　器　負　荷　仕　様　表				
記　号	機　器　名　称	出　力	電　圧	電　線
M1	ばっ気用ブロワ	0.75KW	100V	CV2□-3C
M2	バブリング用ブロワ	0.15KW	100V	CV2□-3C
M3	原水ポンプＮｏ．１	0.25KW	100V	CV2□-3C
M4	原水ポンプＮｏ．２	0.25KW	100V	CV2□-3C
F1～3	フロートスイッチ（原水）	-	24V	CVV2□-4C
制御盤接地線（Ｄ種）		-	-	-

※エア配管は、赤→逆洗、青→散気に正しく配管して下さい。
※臭突管は立ち上げ位置に向かって上り勾配になるようにして下さい。

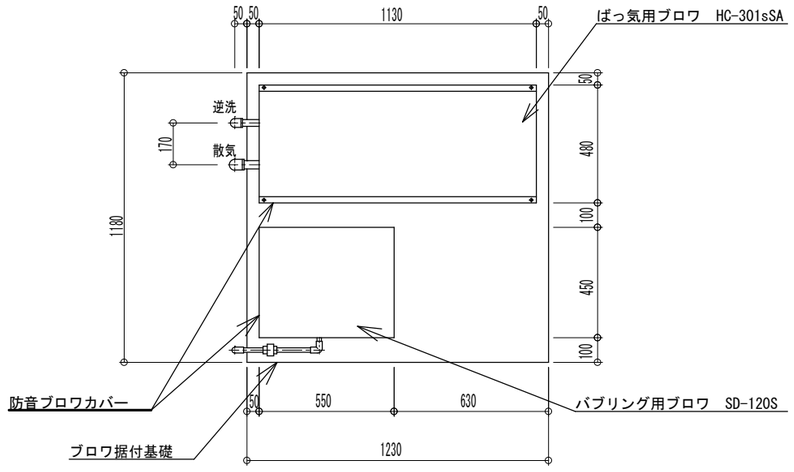
実線　　エア配管
１点鎖線　動力配線

特　記　事　項

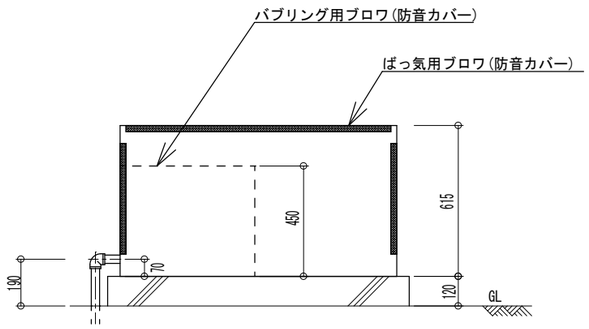
1　プルボックスを使用する場合は防水型とする。
2　一次側及び外部警報用配線配管工事は別途工事とする。
3　制御盤前に機器（ブロワ等）を設置しないこと。

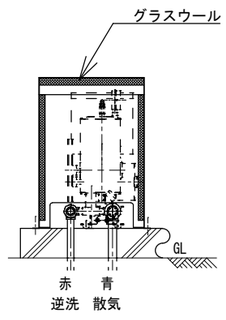


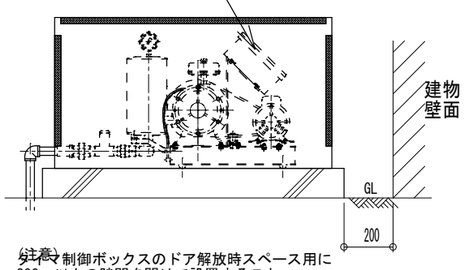
タイマ制御ボックス詳細図



ブロワ基礎図







(注意)タイマ制御ボックスのドア解放時スペース用に200㎜以上の隙間を開けて設置すること。

配　管　接　続　姿　図

		縮　尺	

工事名称　花鳥の里スポーツ広場トイレ改修工事

図面名称　浄化槽　配線・配管参考図

No. M-10